れは左の通りである
正光銘(郭泰斌代)周錫山(趙丕汪光銘(郭泰斌代)周錫山(趙丕近来経(郭泰斌代)瀬澄代(新魯文)郷谷代)和文蔚(白雲梯代)郭澤少谷代)和文蔚(白雲梯代)郭澤少谷代)和文蔚(白雲梯代)郭澤

さて機大会 大会 はなんとす

職名総宣言は出來上

合きの外には、

法闘氏=八北平特における擴大の上つたのである=官

政府協立の母談だけは

と歌歌した大いでリード氏は アメリカの大巡十八隻中の最後 の三隻建造問題に関し日本はこの三隻建造問題に関し日本はこの三隻建造問題に関し日本はこの三隻建造問題に関して大は と かるる と が まると信じて ある と が まると信じて と かっぱい と かっ

か否か、新 やつと出来

なったののである、常日集つた離 時中北平中海の懐仁党で「中國々 時中北平中海の懐仁党で「中國々

で、窓に上海撃二期との間に猛烈。を来し左右時間は再び同一歩鵬に魔東第二期の自派中心固執からし」な論律を恣起し「驚問題の競挫」

市心へ物たる注述館氏から始まつ 中心へ物たる注述館氏から始まつ

あつた、三十人の署名したる離暦

**磺大會議の序幕を観る** 

代表州名署名の總宣言發表

の十五名であった。

方政府の

母體

上頭會議急に進展

新國防案審議に入る

力量に基くものとし結局國防武器上不完分と決定されるものと見ら

兵力量論議の

調停はせ

製鋼所問題には努力する

上京途上

齋藤總督語る

に決定せる兵力量の膨圏内で立案 が (東京十五日發電通) 新國防寒立

致を見ずに賛否を採決す

るやも知れざる情勢である

言質に

不満を有

解任の必要無

新國防案不充分でも

優勝上不充分なりとするも難位の したものであるから機防計量素が

なしとされてゐる

能反
禁意見を固持した
は解
が兵力量決定に
関する
版本
では
が成
が、兵力量決定に
関する
版本
では
が、兵力量決定に
関する
版本

諒解を求

水 めんとする感慨

は夫人、秘書は、愛探等を作び聞いた。

金職終船にて今夕六時代の職がテルで語る

不關着山

しあったが

職名總官記の内容は左の通りであ

走

馬

機関係に於てなやである。 を強めとす、是所を無明の花ずるところ、國防に於て然り、經 は、と思ふに、其處に色んな理が を強めとす、是所を無明の花ずるところ、國防に於て然り、經 がである。

加藤多議官を訪り戦縮・総に関し種をそは十五日午河入時過ぎ加藤電事子は十五日午河入時過ぎ加藤電事

ればりの武装がは経済の後に立つ必然あ

語言所謂に附近側は参加せざる冒語式回答した

に際し自己の方針につき誤喩を求した際と自己の方針につき誤喩を求し第五次国頭音楽に臨む

小笠原長生子

めた

谷口軍令部長

東郷元帥を訪問

凸版。銅版 久保田

鐵(共十二)

## 正式會議は今週末か來週初め 昨夜巨頭會議 開ノ

## 多議官會議

等を止め得ないことで、こので、 が関め、それは絶野の 列國が破壊された組織を更新せ

【東京十六日磅電通】加藤軍再会

日大生の

獅子吼

明十七日基督教青年會館にて

び再今は作傑のみかの

加藤參議官

東郷元帥を訪問

か、それは這次軍協会

其の海流の結果の海流のおり

よ來る

## 谷口軍令部長

がせば、徒らに不默颯のみを噂と ならず、赤その速かなる消滅を ならず、赤その速かなる消滅を ならず、赤その速かなる消滅を

から智威を蔵ずる他國にでも判る、若し自己國際でも判る、若し自己國際

日本大學総認部は一行六名は支那日本大學総認部は一行六名は支那大郎氏弦率の下に十五教授や藤明太郎氏弦率の下に十五教授を藤明太郎氏弦率の下に十五

地に移設し使用せんとするもので地に移設し使用せんとするもので地に移設し使用せんとするものであるが時地は今秋。 「一直局で調査中であるが時地は今秋。」 「一直ので調査中であるが時地は今秋。」 「一直要な土地であるが時地は今秋。」 「一直要な土地であるがら野猫と

見交換があつたがこれが今晩の見交換があつたがこれが今晩の會合では種々報告と意め今晩の會合では種々報告と意とがある、事前の事は總で申上げられる、事前の事は總で申上げられる。明日薬山鎌

君の河推察に委す **黎**參議官

軍令部長から新國防計畫を記して、三月內 に非公式軍事参議官會議を開き 案の内示を行ひ次いで公式参議 案の内示を行ひ次いで公式参議 案の内示を行び次いで公式参議 下日は又夕方から會議を開き 事を申合せた

信じて居る、從つて干犯問題も をと思ふ、伊力・原元帥が乗出す などの新聞記事は信じないし、 を加ると思ふ、要するに問題は新 のなものが知らぬ、要するに問題は新 のなものが知らぬ、要するに問題は新 しても知らぬ、今度の軍縮條約 は何處の國でも専門家は不満足 で居るのが、世界平和と國民の で居るのが、世界平和と國民の で居るのが、世界平和と國民の で居るのが、世界平和と國民の

あらら

不満を忍 んで締結したの

ルチンソン氏(東華新聞)ニュラルチンソン氏(東華新聞)ニュラ

イ・ウフトムスキ氏(公報新聞)ピ

ハルピン露字新聞記者断一行アレ

來連露字紙記者團

海相の 政府はそ 進退を重視 廣範閣に亘り意見を聴き谷晩の會議では軍師、軍令に

の對策に

その進級問題を混起し、延いて内 のですること、なつた は行き得ないことを實證するもの りはせぬかと問題の推移に非常な 注目を搬ひこれが應急等後措置に 立窓 は行き得ないことを實證するもの りはせぬかと問題の推移に非常な

谷口軍令部長は

不多性軍側行

鷄冠山に

後奉天等活線器地を観察の上鷗哈一六日索頭午前本社を誘眼機物を十六日索頭午前本社を誘眼機物をしたが一行は十七日依職に向ひ其したが一行は十七日依職に向ひ其 すると

福井縣入會總會

在大川職井縣人會では十八日午後本は常日正午迄に市内霧島町五伊郡は常日正午迄に市内霧島町五伊郡は常日正午迄に市内霧島町五伊田殿布望

込まれたし

市滿電無機式會配では今回変金四 門力七十五キロワットの憂電設備 川力七十五キロワットの憂電設備 が公主館、四空標度と開始する事 のででは、四空ででは、今回変金四 のでは、四空ででは、今回変金四 のでは、四空ででは、今回変金四

發電設備

日軍令部長を訪問し今回の軍事を長は十六日子前入時代海軍省に谷 参謀總長囘答

次の會議でも日本 し割要求に 矢面に立つリ 米上院議會の論戦 は反 ド氏の答辯) 0

『東京における論学は軍部と文官

米上院でも軍職條約案討議の

大觀

/jv

觀

に街畵映連大

更に、加藤立会部長の静駿に路 むやら麒麟の策郎は、どの國にも ある事、と唱城す。

捻つて、といふ諺が日本にある。

折析

財部無相の際低戦の

ド氏に獣

して、

こッぱづかしい

を除償なくせしめ且つ右文書をリード氏から受け取った後「四月三 日日本より提示せる窓の内容を観まされ度い」と希望しこれに難し表され度い」と希望しこれに難し

と場映し更に舞質説問を要求した 「政府が飛ばなら憾も強励で」と 「政府が飛ばなら憾も強励で」と 督は下隅でっ

とてこれに願ぜず茲においてジョンソン氏はリード氏の事務所において外交支書を検問せしむべしとの申出でを受離した上上院はアメリカの提案内容が茲に暴露された事を感謝すべきで 上院の規定に依れば議員の發言リード氏は

天 各 市地温度 南西の風)晴一時盛り 氣 九八八九〇

で修正可決。善く泳で者、水に溜

ばれな版ドンクサ 高映響音作特の來以立創祉ルナ **暫監氏スリーモンツイフ:シーヨジ演熱の生星嬢ーアム・ンー** 1

5

凝を裝扮

3

0

『東京十六日砂電通』十五日午後十時半市外上目黒一四三二磐城 施統計長大久保隆之助(m)は高端政党なる者に用があるからとて 施統計武長大久保隆之助(m)は高端政党なる者に用があるからとて を眺めサクは直ちに高端が後から突き飛ばし高端の持つてゐた短 を眺めサクは直ちに高端が後から突き飛ばし高端の持つてゐた短

市中は代商店とも戸を開し実際を 市中は代商店とも戸を開しましてある公式に登設された處に 依ると発者十四名貨職者二百五十名に遂してある師同地駐在のイタ リー領事も貨職した

十六日午前十二歳になる愛くるしい支那少年が水上髪から山東同郷 日入港の臓丸でコツソリ青場から 用入港の臓丸でコツソリ青場から 乗船来連上陸し一日埠頭附近をう

これでは、 たくなったからついフライー只で たくなったからついフライー只で たくなったからついフライー只で たくなったからついフライー只で

郷質の間には

七月

五日より

線垂下し運網線レール面まで浸一決定し十五日白川組合長を招致と開落、線路池下、電柱傾き架空がしては甲糖検査を免ずることに甘井子埠頭到斎線築堤十八ヶ所がしては甲糖検査を免ずることに

エデプト

暴動起る

経来に入る

地森川新平方無職土屋淵太郎(三二)は十五日午前九時頃、市内平和街四三料亭愛編亭方へ登棟し朝から襲妓をあげて二十圓五十錢の遊襲をなしたが、懐中無一文で小遊襲をなしたが、懐中無一文で小

無錢遊與一市內大神町四番

隊で鎭壓

技器等に関し組合の保護ある者に生孫に奨闘中のところ、今回操行

の旨を言ところあった、谷本 道館に非純されてある指摘今回の 推賃は時代に限めた英観だと呼されてある

した懲妓の撤免方を豫て大選等衛大選三業組合では四十歳以上に達

兇漢を殺す

夫の危急に妻が

青島から薩摩守をきめて

支那少年が一寸と大連見物

甘井子の水害

低落の導火線となり 大器をおさばつて を表するでするほって でするではなれば幸です はこれに越したこと

**十五日より自宅探養** 十五日より自宅探養

THE WALL OF THE PARTY.

いいことという

大藏理事微恙

一日常籤。共に拂戻し期限七月中とお立會の上抽籤の結果七月十一日と決定致しました。第二囘半額拂戻し日は、本日常盤座で警察官及お客樣第二囘半額拂戻し日は、本日常盤座で警察官及お客樣

東京大角力等前の廣場には市場の

納凉催し物色々

無免許で轢逃げ

昨夜沙河口で支人運轉手が

囘

半

額排戻しは十

日に當籤

明目下留置収割中である
込んだが自然三週間の負傷である
な任同運転手は無免託なること判

二十二時頃土砂崩壊上り線支障せ際、金州間の十三里豪丁場附近は一時間三十分運延、二十里、一場附近は

漸く老妓は檢免

從來の懸案に大英斷

おヤツに

(A) 「宗大人曾居乃住 法律時報 (本) 「宗大人曾居乃住 法律時報 社では今回大連市役所後接の下に電氣遊園下連鎖商店前突地に大連市民納京大會を開催すべく目下工市民納京大會を開催すべく目下工事を急いであるが、環場の各種の餘興、遊戲場、竇店等時內の設備を完備する管であるが、開場のあかつきは大連市民の一大快樂場と化するであらう

創業以

末初め

安東中學校

報

雨

n

0

不通箇所

大連飲食店租合役食有志十名は過大連飲食店租合役食有志十名は過大連飲食店租合を脱逃した

反省を促す

と云ふ有様で数る人没らるゝ腰、と云ふ有様で数る人没らるゝ腰、 ともに不快を禁じ得ないところで おるが、今年は海岸一帯の舞沓を 地では係貮を増減で は保重を ところで は してある

THE LEAST CONTRACTOR

大連連鎖商店

2 Tricolings

なら

-

恆

發起人側の談

全部復舊

満鐵の損害

編長校佐水上細城池木齋館 外 木登 二 外 木登 二 一三治維男男児仁明牙夫雌夔 一三治維男男児仁明牙夫雌夔 一三治維男男児仁明牙夫雌夔

島岡藍脇山谷山平平安大高小川崎原川內水本山野藤塚島此

監搜捕一二三遊石中左補同同醫主手歸與屬緊翼堅翼缺同同

豪庶 貞一 虎貞軌正總 大人

**ルテームの各ナインの氏名左の如** 

一百戶浸水

廣寧寺で列車立往生

金福沿線の水害狀態

碧流河氾濫

£ 之男嚴雌郎男次喜雌郎良三藏郎士 正川重光三次正正豐川 賢幾宰太武 藤藤邊口本石本藤水田田村川川村 藤藤邊田本石本藤水田田村川川村 八大 大連商業學校監投補一二三遊左中右補同同 市齋營藤松牛中喜桑上山安降川養淵枝井田原橋門野中屠矢

推覧中學校 三志鄉雄文事故靜明長雄郎男 三志鄉雄文事故靜明長雄郎男 平 木 原 平 木 原 平 木 原 監投捕一二三遊左中右補同同督手手贔贔嶵翼堅翼缺同同 監投捕一二三遊左中右補同同同同醫手『齲蟲齒擧翼堅翼缺同同同同

數正審重武長開信 義晴滿龍馬樹滿義美唯介官修久久男已 全滿豫選大會迫る 豪雨のため 電信不通

日本球界年中行事の一として

必勝を期す五チーム出場し

花期の天候

は躍る

代表チ

の祭冠

中であるが楊樹底に於て飛が者一

被害甚大の

出して居る

にあるが今後はますく、西部大連 にあるが今後はますく、西部大連

東歐に砂管理薬に市内遺跡の統一上脚 東歐に砂管する悪は常然であると なれ曾て大連市舎の問題にもなっ たが、市ではいよくこれが砂管

働く妻に

寸 證 株之

預

失業の夫が

じた

間の有力新聞三紙に跳し休刊を命

第八期決

福通路と共に大院線道路となるはの 愛展に伴ひ交通頻繁となり常盤\*\*

火を見るよりも明かなのでこれが

亡父

の横領金を

相續人

八が支拂ふ

保險料に絡まる訴訟

合

前大時五十四日夜來の感雨で各地の電信級は十四日夜來の感雨で各地の電線は十四日以來総州、郷射十五十六分には全部で終五時四十分類は一五日期終五十六分には全部で展開を受けたが十六日中後五時四十分類は一五日期終五十六分には全部で展開を受けたが十六日中後五時四十分類は100年間により八五十六分には全部で展開を受けたが十六日中後五時四十分類は100年間により八五十六分には全部で展開を受けたが十六日中には全部で展開を受けたが十六日中には全部で展開を受けたが十六日中には全部で展開を受けたが十六日中には全部で展開を表現した。

郷へと大連地方洪院民事部で乗ってゐたが、十五日行山判官から原告蹊評の判決があつた

三の娘愛子に支地

無限月配が最も多く十五日午後は 下は旅大を中心として開原、率天 及び績鍅を中心として開原、率天 では旅大を中心として開原、率天 である。 小源地の増水 メートル料金に換算して づかはれてゐる

り、真三の横頭金線額三千圓を支り、真三の相響線小株愛子を相手収口真三の相響線小株愛子を相手収けます。 日本生命保険代理店

を經營し、被告の父堀口貞三は十五年二月から十二月までに被告の父は原告の委任によつで限行した其後少額づム辨濟中貞三は昭和三年五月十九日死亡した、よつて護産相積人たる貞一の娘雙子に支持の義があるる。

朝來の豪雨は十六日午前七 もう水の心配はない

日割變更

法大對滿倶戰を先に舉行

麵類部

飲食店組合が

麵類屋を計畫し

いま

の半値で賣る

水、法面線及下り線方面は決撃水、法面線及下り線方面は決撃で防水せしも浸水止まずモルター類は撤去して排水に努め機構を発展り十六日十五時までに線を取り下が開発する。 中央公園の 道路移管

中澤監督と種々協議の上翌十五日大鵬田監督館製岩瀬手將満供監督、田職(決勝職の場合は十九日に大郷智製決勝戦は同試合終了後法、職十八日午後四時法大勢満俱二中澤監督と種々協議の上翌十五日(行ぶ) 試合

田午後四時代より行ふこととなった時代より、火鉄の戦の場合は二十十年後四時代より火鉄の戦の場合は二十十年後四時代より行ふこととなった。

大タクの

燈籠流し取締

四群次等多上

通學用防水マント……」 個人十段より

紳士用レーンコー

七圓三十銭より

特店商館連

電話番號

THE SOUTH THE SO

面白いし

一册でー

芸歴明 支 店 山縣通 出張所 星ヶ浦 出張所

523

合

辨天堂並風呂崎 二五電六六八八

大日本麥酒會社 特釀

2

ズンビ

大連大山通 宅

電話代表ニー光

電話四四九二滿日廣告部專用 暑さも忘 6

(白瓶)

腰痛寺足の痛む神方息

東の控へぢや」

動が鑑摩してるた。 東の控制には、薄暗い段下に欣

ての一生を終へさせて頂きたう存むしての一生を終へさせて頂きたう存むとしていませた。武士としての主を継続に戻ればとて何のた

來る十八日から歌舞伎座で

「え?すりや生命をすてる御覧悟」

四部五郎觀劇

「旅人權三」三場「妙法院勘八」九場

本紙連載の

「艷色生膽秘譚」五場

野敢に即決大處分致し取新良品を総て思い「きり

しますからを高って御用命を希か

光禁を感謝いたします

この快報を各位にお知ら

日

末たのもしい潜人よって居るのぢやろか、心からたよつて居るのぢや

のぞんである、この上此處に踏み「併し灰鷺との、おみは年崩、當

抗ひつ、難いた。

ある、取り返しのつかぬ錯

らうといつてるたところ▲三人ど こっか近米にない大入りで饒嵐す つかり嬉しがり雨天大叫神様々と 手む▲そこで休館した街りでゆふ

左近は無言のまょう

といまられては……」

を裏切りし不遇が似でござります「お」、五三郎――あやつは主家

た五三郎めが申分と云ひ:

乗り出し人類を一身に集めてある 河部五郎一座八十餘名の實演館を 河部五郎一座八十餘名の實演館を 東り出し人類を一身に集めてある

きはお客が三人以上還入つたらや なって映監領大喜び~といふもの なって映監領大喜び~といふもの

カミラ・ボリンラン・ボル アン・ボリン・ボルル

此の祭団彼き 歯特参下されるの記念照價サービス

地獄谷の大剣客

地下室電

軍手現金卸賣

國稅

を きのふは朝からの大 豪雨で野球はないし かんからは小降りと

洲崎の上手 薬研堀勘八の假寓 大の虫腹の家

「
立木茂之進が言葉と云ひ、

まつ

と、亮之助が急ぎあしに近づい

「配酬どのが態度によってぢゃ… もわけにはゆかなかった。

云ひ終らずして放鵝はむせび泣

が劍閣界の覇王として實演界に一

河部五郎の當り狂言

たよりとして今日までお慕ひ申し

「妙法院勘」

され

た近線\*いまさら聞らぬくりごれだけは拭き浮めて頂きたい、 たしてねらひこそすれ、あなた機能が機能がでもあるなりや、 そとしてねらひこそすれ、あなた機能が情報としてねらひこそすれ、あなた機能が情報をしてねらびこそすれ、あなた機能が情報をしてねらびこそすれ、あなた機能が情報をしてもらびこそすれ、あなた機能が情報をしてもらびこそすれ、あなた機能がしている。

も別にかけねばならぬ、それが舌。 が、肤響とのは他を仇敵と呼ばは が、肤響とのは他を仇敵と呼ばは が、、大響とのは他を仇敵と呼ばは 艷 色 生 膽

左近は亮之助に一切をうちあけいのよ 「さうか、ではとにかく俺が逢つ 職命に唱んだ。 「唯一監申上げたきは姉の妙香、 御手にかかつて非業の死を遂げる。 まで、清解な一生を選り申したと まで、清解な一生を選り申したと たならば、それがしを仇敵と呼ばれならば、それがしを仇敵と呼ば いて左近、暗然たる心に胸がふ かぶりをふつて一生

興味ある

の上のことだ、貴公

「はい、充分について居り 余端に鳴り響くは雨霰の如く打。 吹離は感然と云ひ放つた。 (174)郞

河部五郎の國定忠次

▲ラデオ糖操

◇皮那語講座、第四十九興)補鍛學

◇皮那語講座、第四十九興)補鍛學

◇京歌講座 西本願寺岩本海量

○「中」軍艦マーチ(ハ)ダニューブ

フルツ(増本京平)

(弊) 同大勢(一同)近所ばば(七の宅」第二場友吉の宅」職工友吉(好の親惣七(五郎蝶)職工友吉(好の親惣七(五郎蝶)職工友吉(好の親惣七(五郎蝶)職工友吉(好の親惣七(五郎・)、 (本の宅」第二場 (第一場)を一場では、 (本の宅)第二場では、 (本の宅) (本の定) ( (伏見の吹雪)須占旭乘

門を狙つてゐたので圖らずも樹大の助力を得て西村を討ち果すな一でく勘八の助力で討ち果すが、お小夜は裁災の仇菅野左源太を同じく勘八の助力で討ち果すが、お小夜は勘八の無事を祈るため黑髪を斷つて不助事と前るためを動機に自分は戀しい勘したのを動機に自分は戀しいある。

が五郎が扮して活躍するが、在言が決院観入には言ふまでもなく神

第一、諸草雷門觀音の場

)三味線 (鶴澤 十四日を切って敢然

(阪文樂座より

名の

珍味中心北京料理

大連連鎖的

ありまして優に他品の三倍以上は永保しの三倍以上は永保し

これは實際御使ひに

損傷せず然も嚴重に

衛生的包裝を施して

三日間限り

凸のテッド・マクナマラ氏珍演 | 大会治者禮狀山禮する治者禮狀山禮す

道

四

尾商店

用として盛に愛用さ

中元の線喜よき贈答 解りになります なれば直に眞価が御

にまけずに「山の玉者」も総然ラーンが呼び物となって好評へ 一種のやうに騒ぎがなくたつてジーンバリの性的魅力はしばく 営 局の御配介になってある▲蛇を喰 ふ作藤峨人そつくりの男を淺草の 本部で見たといふ人があ すぐこれだ▲「唐人お吉」 一時地)

日の泰西の映 

十四日よりお盆與り 密呼

監督佐藤樹一路 和せし (否領・大野三郎助演 本ツタス社爆笑篇 をこ好評(否領・大野三郎助演 品の一

0至る處の禁店にあり 本舗欧海本林丁子堂

ば必ざく、そうどく 麻病其他の毒を下し つうじをより 禁價五拾銭壹 圓圓 3

端日社印刷

三倍保つ

德用經濟:

龜の西標的

原料を用ひ毛の密度

す故に使用の時候り

微妙に汚れを除去す 手に力を要せずして

る事が出來ます

D

国 公り特別と大 急告!! 付=造攺大內館 急告!!

演休時臨

内小 科兒 配

他品の

全商品 浪速町の一角流 東百貨店 へま 大進出のため

するの

引寄引寄矣.

**整 盟** 

17.11

近海 藤

X外内

光科科

新東高

公主閩

原

教育玩具、文房具 常盤楊電平停留所前

舉

自励車電車御符合せ中に御立器

寄り下さい

日合

保険財産所調

流洲見本市出品物は百五十順以上 に上り出品者の希望によつては職会 であったが大部分は出品者の手に よつて豊勝かれた

十六億則と驚くべき 七十六億則と驚くべき 七てある。 してある。 中央 地における株に 昨年十月一日の相に 新豆十六圓五

件肉店問題

海標金

れての目的に使用する如何なる網でも御 を網を針金細工品を専門に製造して永き 金網を針金細工品を専門に製造して永き がます何卒多少に、不拘御用命下さいます

豆が七圓、錢と五品が一株

生 淡 皮 性 病 歸籍

醫院

銭信手敷料の

引下げ問題

◇…斯くの如く英大な一次。所くの如く英大な一般であらら。 多額のボロ院を背合 多額のボロ院を背合

相場(武代

志醫

連

をでした。 をででいる。 をででいる。 をででいる。 ででもいる。 でもいる。 でもい。 でもいる。 でもい。 でもいる。 でもいる。 でもいる。 でもいる。 でもいる。 でもいる。 でもいる。 でもいる。 でもい。 でもいる。 でもいる。 でもいる。 でもいる。 でもいる。 でもいる。 でもいる。 でもいる。 でもい。 でもいる。 でもい。 をもいる。 でもいる。 でもいる。 でもいる。 でもいる。 をもいる。 をもいる。 でもいる。 をもいる。 をもい。 をもい。 をもいる。 をもいる。 をもい。 をも、 をも、 をもい。 をもい。 をもい。 をも。 をも。 をも、 をも。 をも。 をも。 をも

錢 新五銘

本社主催で開催

小川(補鍵) そこにゆくと東京 ものさへあつた。

少くたかつた、同権見本を澤山 したいといふ氣電が見えるのが

上減るだちらと思ふっ へ入口と出口とが一緒だからた ならぬ、この次には別々にする 必要があらら。 必要があらら。

へ末へ長春) 府縣別の陳列沙を る見込の少い商品の出品はずつ る見込の少い商品の出品はずつ

千秋さんの

運送屋振り

一選送屋振り

一覧山製線所長から網際連輸の
本かつたが、敷年间迄線道部の
なかつたが、敷年间迄線道部の
なかったが、敷年间迄線道部の

仕手關係で

銀塊及為 論數銀塊 18片十分主 論數銀塊 18片十分主 實銀塊 異配比共分七 業件貸替的人所共分之 來升貸替的外人所共分之 來升貸替的。 來升贷替 等別的。

会占

展及りがある。

東郵日鐘鐘人大落

問題では一般

限狠狠

市

産泥

市場電

でしたい、公開すれると共進音気分を検証させて れると共進音気分を検証させて であるのに公開さ 小川(諸鍛) 當初の記暇では茲 野年會館、歌舞伎座、商磯の 警得るところないと思ふ。

1トであつたことは知る人を知る。

豆豆豆豆豆豆豆 一豆豆豆豆豆豆 豆豆豆豆豆豆豆

**Я**ВВЛЯЯЯ

東東路

安高引寄河 豆 亚 值值值值 期 先中當先中當

元 京 留 留 記 比 比

Æ

月川(補鐵) そこにゆくと東京 あたりは洗練されたもので、履 あたりは洗練されたもので、履 かは片分、織物類なら切地見本 といつた工合、またロ校のハン といった工合、またロ校のハン 

電田(大連) 飛年は谷府縣でも

製品だけを出品してもらひたい ららからそんなのは脳が減るだ らら、その土地特有の目信ある になっている。

依然として活況

東合としての態度は大い の希望を聴収し四時散び 関係をでである。

省で決定する

滿洲一等

本年中に百萬枚突破

吉海打通兩鐵へ

對抗策を講ぜよ

四平街市民大會の決議で

各關係方面へ陳情

大部分賣 品物

油粕樂豆

銀塊安で

鈔票弱氣配

内地株不動。 一大田 ・ 一大田

哈爾實 

150011111111100日

池田小見科響語院 物賣買買 大<sub>三</sub> 一廣

商上

新光錢新商五 東新鈔豆信品

一時品切手で買物をすれば百圓の仕様でも九拾何圓かで一個品切手と債券を交換いたします。 一個品切手の利用に限る 一個品切手の利用に限る

環 籠花ば 大連四個場近江町色像

花

新東(崙)

交換八十六世

奥地市况(叶湖)

1、1二1、八八七直

新鉄豆信品柄◇ 品 東 - 28現・河中 9階 | | 1 | 1 | 2付

1 | | 岩引

中陸

華民國大元帥

張 作 承閣下題字

陸軍步兵大尉權寧世著

型解で御旅行の事は

何でも御利用下さい



大 交換賣

眼

(日略不)

實業之日本社 難禁

九ケ國に活 南 3 KKK

費會 六ヶ月完了

金五四八十二

錢錢圈 没没没 料料料

十十四 四二 競選淺

一ヶ月一册刊行

主幹 飯 資本金 ト形支那語の字引器・気 河 熊大連商業銀行 道 那 雄 費件執筆

中込及配本處 大連市設速町 屋號分店 書店 店

發行所 護 北平 馬 双語 大阪屋號書店 冠標機 全 各 書

(部院医派黑)三团图公西市建大

にあて

店帽製野人

量面# よせ歌。

健康創造の美酒を 潑溂たる肉體美を 飲め!而して 味と滋養の蜂ブドー酒! その潑溂たる健康を削る美 人生無上の幸福と健康を!! 健康は人生唯一の至寳なり 謳歌せよ

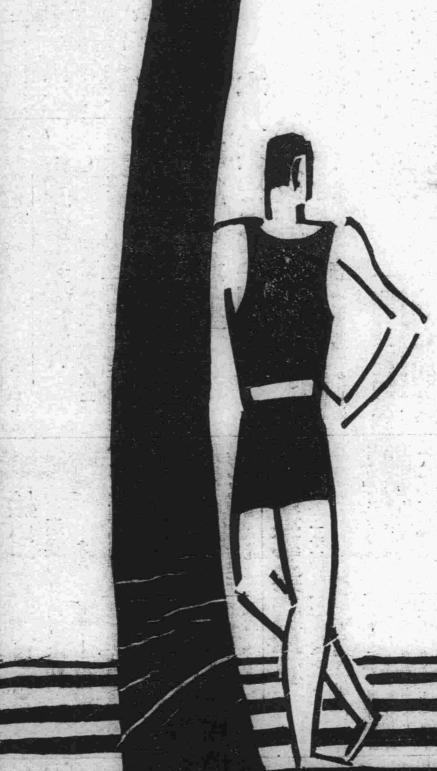


店

品質



店商衛兵利藤近沿元豐暖



店本衛兵傳谷神經元溫及

**常野砒鶏は熱心に髪強してる** 

参議官會議の答申

政府當局は前途を樂觀

は年々増加し、また関内をの他から移動する、而して世界經濟の浪は神々として押し寄せ來るときにない、佐然たる独面目の農耕を以て存在することが、些の危險をとれてあらうか。吾人は、この監に関し、わが減洲の原始的農耕をいち考察して、多大の関心を有すなものである。北浦一帶はこれかるものである。北浦一帶はこれかるものである。北浦一帶はこれかるものである。北浦一帶はこれかる 都合で取止め

獨逸**参加** 古は不参加 古は不参加

【パリー十五日發電通】フランス である

『東京十六日發電通』政友會の新 | 批委員長より終援を述べた後常見經濟國策確立に関する特別委員會 を交換し左の如き調査項目を決定 新經濟國策項目 政友特別委員會で決定

共産主義は全く 歐亞聯絡列車から

果れと附縁ひゴロく 市中に腰で ことである、と極度の悲劇説 り驟では乞食が金を果れ、煙草を などは一度ソウェートを腰で來るかも失範者は市中に横行しモスタ のがない、 日本のマルクスボーイかも失範者は市中に横行しモスタ のがない、 日本のマルクスボーイの と食を繋出した以外何等職めるも 本のピールー本が一留で世界の ある薬は事實共産主義は意情者と 獨逸では賞讃 英國では扱下

怠者と乞食製造

マルキシズムは歐米で廢る

勝田五郎氏語る

赤いロシャについて 金生善造氏語る

大學の階級は成功して来た、豪魔器の網月本器の形式をは、東大學の階級機能の一般的ない。 臺灣で解

食糧問題は

一でど 京政府に受渉リであるが、南安政 の一の一の二ヶ所に職事能を新設すべく増 の二ヶ所に職事能を新設すべく増 の二ヶ所に職事能を新設すべく増 つ

に要求し来り、交渉は順調に進み に要求し来り、交渉は順調に進み がれる

だ臓な A これについて上京中の由 の翻答まで 左手で扱つて みる事が

喰つて居る魔を見た者の話による

石ででの戦あった。 ででの戦あった。 変数のなどでの 変数のなどを 変数のなと を 変数のな 変数のなと を 変数のな を 変数のな を 変数のな を 変数のな を を を

と極度の悲劇的

洮南と鄭州に

たものであるが然し政府が歴度を 東定前に炭坑業者組合に二週間九十 定前に炭坑業者組合に二週間九十

近〜領事館設置

支那側では臺北に

領事館設置方希望

『東安十六日發電通』海軍団政館 | 企業後非公式総議官會議を開き載 | 式参議官會議は目下停頓の状態であるが、谷 | 部最後の態度を決定し、正式會議 | 都合ヶ何ひ、來測平々開かれるも | 都合ヶ何ひ、來測平々開かれるも | 都合ヶ何ひ、來測平々開かれるも 正式参議官會議は 來週早々開會か 今週中に非公式會議を開いて 軍部の最後の態度を決定する 一を表情を注がれんことを関係的である。 
「といふべき の茂生せる沃野に、 
「農林の合 
たいふべき 
の茂生せる沃野に、 
の茂生なる沃野に、 
の茂生なる沃野にない 
の茂生なる沃野にない 
の茂生なる沃野にない 
の茂生なる沃野にない 
の茂生なる沃野にない 
の茂生なる沃野にない 
の花なりにない 
の花なりにないない 
の花なりにない 
の花なりにない 
の花なりにない 
の花なりにない 
の花なりにない | 東京特で十六日数|| 院部行政部 を振游省より大総合で翻断すると | 本に度電行母類師がは既に大総職 | の国の開工日後に全部決定し、之 | の国の開工日後に全部決定した。 | の国の開工日後に全部決定した。 | の国の同工日後に全部決定した。 | の国の同工日後に全部に関いて | の国の同工日を定じたがこれに | 立と同時に重合際は歴いされると | の国の同工日をに定じたが正式と関い、日本に関い の概
競を授けられた博士講求論文」に
摩とすべきは
厳事率非彦二郎
はは今川
法療博士
」は
厳察に関する
決律論である
が特
しなったのは氏を以て
嚆矢とするも 關東廳實行豫 節約額は百

萬圓

**湾政策** 高粱畑ご新經

拉

說

有料官舍は俸給の一割徴収

大藏省で具體案決定

既する 「北平十五日愛電通」改組派代表の下に差した報道に依れば汪虓徽氏は既に香港を發し日本郷由北上「北平十五日愛電通」改組派代表の下に差した報道に依れば汪虓徽氏は既に香港を發し日本郷由北上

汪精衞氏愈よ北上

本月末迄に北平到着

北方政府組織に着手

莫全權に全般的

交渉權限を附與

先づ大使交換を承認

間に促成實業教育を施すといよ 異體案まで得てゐる由で最も力 瘤を入れてゐるのであるが、各 府縣でもこれには頗る熱心で協 を各府縣に設置されたい等決額 では從來屢々論機踏されたい等決額 生徒父兄より保護者會或は入學 生徒父兄より保護者會或は入學 中華に際し微收した寄附金は教 卒率に際し微收した寄附金は教 を事に際し微收した寄附金は教

ふ教育制度

**寅兵保險業者が陳情** 

小兄保險に反對

平井検事に

「東京十六日發電通」大総院頼低「我が微兵保險と利害衝突し多大の「本(目下交渉中)の俗談兵法。 法。學「博士授與」いて實施計畫中の小児死ご保險は「國際兵保險を始め第二、國 『東京十六日發電通』遞信省にお「坪廳を受ける結果とたる處」 の各類兵保険第一、國華、日

失業日傭勞働者の 應急救濟施設要項を決定

大使交換を承認した、これは南京一篇らした。 入學卒業の際 寄附は絕對廢止

失業防止委員會特別委員會で

當局は實業教育に頗る力瘤 長尾視學官語る 沈旧文 を提出したのであったが、その大半は質楽學校に 対することでその内容充實、教 関することでその内容充實、教 が、その大半は質楽學校に の人格陶冶等々、既に當局では の人格陶冶等々、既に當局では の人格陶冶等々、既に當局では の人格陶冶等々、既に當局では の人格陶冶等を、既に當局では

家庭教育振興と 票で再び右送穀中に二郷間九十時 の総議に當り百六十八票。第三十六 の総議に當り百六十八票。第三十六

炭坑法修正案通過

で話するを欲してあるか否やを 紅っ 入職豫定定期船はるびん丸の建な はるびん丸船客

青年指導に努力

内地は豫想よりも不景氣

安高引寄 

入入入入東 六六六六 五八八八十 五八八八十 五八八八十 〇〇〇〇

豆

長村上義一氏は近く滿鐵理事に就「伝するに内定した

英政府再び敗る

村上鐵道局長

滿鐵理事就任說

大三 五二四六後 六三 不三三六一章 五五 八五〇五引 500年〇二人〇

豆滿 豆 大豆油州先 現 現 物 数 物 物 物 物

出来高 十梱 配助 サ月限 一一八、六 一〇 配助 サ月限 一一八、六 一〇 組糸(保合)

場

鐵道事業費豫算

一千五百萬圓に決定か

新規事業はない

米高[銀對金二千圓

と 供いて始めて公にされたが、之より光きステムソン氏の強勢に スのポスト、ジュッランド 改と 供いて始めて公にされたが、之より光きステムソン氏の強勢に スのポスト、ジュッランド 改と 作ネー及びジュッランド 改と 相殺 は 一隻を最少限度の際アメリカが 五千順のテウロドネー 理俗一隻で 大型巡洋監十八隻を要求せる事、 なを建造し、且つ現在大型巡洋監 エ千順のテウロドネー 理俗一隻で 最少限度の際アメリカが 上を建造し、且つ現在大型巡洋監 なびアメリカ海軍人会部では二十 の口角引上げ等近代設備を施すことを提議してゐる

定期後場(用位銭) 新村 高値 安値 大引近 高久幸高公 愚公 高公 高公 高公

始めて公開さる

巡艦の口角引上げや

テウロドネー型建造

メリカ

の要求

崎海外課長

には居られなかつだとし云つてみるのを現實にみせつ 支那當局を招待

事際にては廿二日支那艦常局を招 (株) 一対の製塊変を開くが、八木 関車層は別に政治的團體ではな として租機されて居るので南京 として租機されて居るので南京 として租機されて居るので南京 として相様されて居るので南京

あつては一方では四十五銭に買 「何酸といふ笠を生じ組合を組織が る以上その統一に非常に困難が 貨物盗難と番犬 意見を表明する旗りであると語ってゐたがその成行は出目されてゐ

と奉天署常局が再三折衝したが容易に安御殿を見出すに至らず十五日も出石組合長が奉天署を訪れ更に折衝する處あったが可線なことを繰返した送で結局警察側は組合 日で警察師では現にビール一本を の十五銭に置つてゐる處もありそ かで十分採算にも合ふのに態々五 十銭まで値上げしてまで翻可する 必要はないとこれまで組合館代表 と奉天署常局が再三折衝したが容 世で警察場では現にビール一本を で歌可して貰ひたいそれが出来な ければビール一本五十銭と一定値 段を定めて歌可して貰ひたいと願 を からその 勝敗は 顔る 興味を以て を からその 勝敗は 顔る 興味を以て あいからその 勝敗は 顔る 興味を以て

本年の講録ス道収入が昨年の同期 に比し著るしく減少してゐること は既報の通りであるが奉天賦における本年四月の收入(旅客貨物を ける本年四月の收入(旅客貨物を 本年の満鐡々道牧人が昨年の同期の後で、不沢、緊縮その他の関係で

水泳選手の遠征 補過祭の上廿七日再び釆奉三日流にて北戦河より≪奉同夜北行北東にて北戦河より≪奉同夜北行北東にて北戦河より≪奉同夜北行北東 在の上赴連する豫定であると

全京城と龍山で競技 右九名は十八日十五時ಳ安奉線急 郡、川野末男、高木正次、宮原 郡平、森田茂 石田梅吉氏と共にその戦闘を遺める。 乗りは既に十一日來奉し世話孫り **満録響グラウンドに於で花々しく、**込み同日より二日間毎日正午かまっ 総言城山、大鵬監護、同玉館二行権監護の途にある日本大相議に 二百餘名は來る廿三日率天に乗り 

速記

して、永久に保存

兩氏送別會

▲日出づる図▲覺め典▲秋父宮殿下御渡

見本市 灰は 大連で開催 された見本展示が 招待で 長春輪 された見本展示が 招待で 長春輪 したが、 商品の 製約は 日華商

大組合から融合戦 された見本展示館

された見本展示の 招待で長春輸 市民会長加世田彌二郎氏は十三日 び入組合から組合型 六十名が出席 出連、緊螂所州内影地郷成同懸命を通じて鰓紋一貫 千間鯨であつ 小坂拓勝大宮と會見、水量問題其たと 位について辞録に登述し最後的説とと

の座談會

▲ 稲葉醫大學長 十六日大連にお 東より着任 東より着任 で開催される評議員會出席薬醫大學長 十六日大連に 者の交渉は確まってゐるから何れ

てゐる多分限三日中に開くやうに
のるが子供連から多大に期待され
なるが子供連から多大に期待され

蘇家屯驛の

上屋が

3

長春郵便局では本年も例の通り番市中電話相場の低落に隣ひされて、

廿日頃迄に移轉

行にて京城へ向ふと

寄附電話

長

募集中止

相場低落のため

凉風わたり弦鳴変か

街

全满弓, 迫大會

萩原斷然優勝す

一の情内第三ホームの上屋根が全部吹った。一個内第三ホームの上屋根が全部吹車を

嶺

三年振りの豪雨に 至市、泥海 と化す 領事館附近の家屋は全部浸水

中まで全くの弱海と化したが、附の 歴地境界の防水工事が完成した。 画度松島町も道路の中央が現はれ では被害最も進大であった北五條。 には被害最も進大であった北五條。 には被害最も進大であった北五條。 で見舞はれた鐵饋の町は十五日正 に見舞はれた鐵饋の町は十五日正 高級水さず は終日郷水に代 

来る世一日から十日間殿島小野校 において鴻鏡和等教育研究會の主 催で唱歌の講響會が開かれるが講 師には山田数論が之に常ると

(日曜木)

って普刷店へお綴さんに行き又れたムスカートさんは良縁がおりなる處その中で最も訓練され馴

會議區長打合

率天車輛事務所管内障長區長の打

吾等

¥

到支貿易の伸展策

ルモツ

量移出

武時の未曾有の銀安と、輸入配出は非常なる影響を受けて、本年出は非常なる影響を受けて、本年上半期の日本動支質場の輸出超過上半期の日本動支質場の輸出超過

り營 名

關東州と天津を利用せよ

林陽之助氏衛

天津に輸入された外膜品が、更 で満洲向け再輸出せらるよことは で満洲向け再輸出せらるよことは

H

奉天際では本年最初の試みとして構内における貨物盗難防止のため一匹が四百側もするといふをかり上四が態々大連から十匹も

の中で主人のためご奉公するのだ ので係践も我を忘れてお鰯の始末 ので係践も我を忘れてお鰯の始末

來月から使用せん

るといふ上へ下への大騒ぎ

等一切の世帯道具が揃へられる。大害も残られ食器、食物、洗剤

見たるのみで出水せず、篠つて鶴間は新城子率天附近に少量の雨を した、今回の洪水

音學校も臨時休業

水他の客に幾するを好まず同家では持て鍵して居つたが、去る十三 上の王架と語り合つて居るを女時 に叱られ直ちに越桁轆魎を釣して に叱られ直ちに越桁轆魎を釣して ランコ往生を遂げんとしたが王来 同家へ響け込み大騰ぎとなり間 の飲食店々鼠王栗と脚築を重ね爾の飲食店々鼠王栗と脚築の東京でいる昨年年頃より鹹家

でして手管を加へ際く蘇生した 遠藤氏の寄州 前地方係 長護藤彦治郎氏は離開に際し小學 校文兄曾へ金二十順、青年圏へ金 十個を寄附したと

俳優の自殺未遂

近く昌圖で銃殺されん 行ひ具成績を以て午後二時代終了。 ではいて諮補の想定の下に蔵者を において諮補の想定の下に蔵者を において諮補の想定の下に蔵者を において諮補の想定の下に蔵者を 爆破演習終了 新兵舍落成

長春新家兵舎の工事も比理能人機を見る事となった、これで即念に移動業態校の假兵舎で不自由な生活を送った兵隊さん筆もやつと

軟式野球の覇権

遂に驛軍の手に歸す

日藤伊佐小片閣今磯松 中井廳滕野倉山村邊开

商工省以新義州說

室町校児童の 林間聚落 と熊岳城行き 

法律短期講習 送に傷勝せり經過及びメムンバー

左の如し 北斗車 300254402 脚 軍 325四五六七八九 料 野 軍 32523607人 25 28計25

六月中金融市況 既に夏枯期に入る

錦糸(遼塔牌)上旬一四四圓下旬一間場は左の如し 心めたり、本月中の相当に依り置行基だ不振

した 石岡氏送別宴

に物市場は既に夏枯れ関散制に入 一一般。間次 叙上の如く特 旬四圓四十針

が――夏に天難向け再移出せられー一発と其の總では日本品である

口及び安重向けのものには常該地 の通り外関向は再輸出が多く 繁 の地の大選向けのものには耐寒

左の通りの商品があ

大会に出場する無駄中央ナインは一はものではないが野職目指して恥せ続ずる満洲強選」る、旗甲チームは千軍萬馬の古つ野職目指して恥せ続ずる満洲強選」る、旗甲チームは千軍萬馬の古つ 満洲豫選を前に 無中の陣容 投手生田を筆頭に

日満了のため何れる母校「傷いたとし、本大多、感激校より實地見習生とし、本大多、感激校より實地見習生とし

素晴らしい今年のナイン

上京委員よりの電報 會合では未だ敷地問題は保留せらるへものなりと見て誤りなしと思ふ?」とあり吾等は昨日より文書宣傳に移り極力之れが防止と轉換に努む昨日商工省は次定、 

「会異官、中井製織所長官、 

「会異官、中井製織所長官、 

「会異官、中井製織所長官、 

「会」、 

「会」、

公學堂の 今月行事 瓦房店

事は大職左の通りである 事は大職左の通りである 事は大職左の通りである

防水初會議

宝において第一回防水館/を開く 電において第一回防水館/を開く

正常店公園堂の講堂本年中に新型する事となり居りしが飲み井上棚でたが報数は百八土米暇なりと

生の世界では、東部、海路のでは、東部、海路の大が同地の自然が極いでは、東部、海田であったが同地の自然が極いであったが同地の自然が極いであったが同地の自然が極いであったが同地の自然が極いであったが同地の自然が極いであったが同地の自然が極いを極いるのに憤慨し何れも見合せ闘疾したが高級の破裂に魅からず憤慨し

→ 並びに同問題關係諸經費に関する經過報 の經過報告並に阿羅

▲山上前協會長に贈呈する「記念

△特別評職負推薦に闘する件

▲協會優房ポイラー室附設に願す

普覧店民政支署長 1 日海野歌 2 1 日本 2 1 日本

て居る

無殿的歌歌館は十七日午後 七時より同館會において評談は館を記れて評談は館を記れて開談館をなす本部會母程制定に闘する件(本項は同協會に商業部、農工部等の各部門を新設。その責任 者を置き新無順の競展に資せんとするのである)

東のスコアラー職田君である。なほ同職が非常されてゐる、なほ同

近暖水電館社の電路線を開出するので野繁では極力警戒中のところ十四日午前二時特別富田市のところ・1000円 は極力警戒中のところので野繁では極力警戒中のところの販問もなく現場に関はでは極力を対したるに敗は暗にまって展るので近く逮捕の見込がりません。

快足を以 てなり、センター佐土原はナインきつての張打者、レフト吉田その他召田、大者、レフト吉田その他召田、大

電台社の電燈線被害親川す

資育年職盟ウラロコア他一名は際ニンベラ笠に背難といふ 駆気で 十四 小坂次官に 最後の陳情

さる意氣ででのものトティムである。 一本年は「柳田教諭の課職と先輩野木本年は「柳田教諭の課職と先輩野木本年は「柳田教諭の課職と先輩野木本年は「柳田教諭の課職と先輩野木本年は「柳田教諭の課職と先輩野木本年は「柳田教諭の課職と先輩野木本年は「柳田教諭の課職と先輩野木本年は「柳田教諭の選挙と称」

見童の聚落

萬百廿九剛波少し平境三朝八分滅 萬百廿九剛波少し平境三朝八分滅 元月は廿三萬二百九圖、五月は廿七

廿三日乘込む

樂しい野水落

中では、大阪のでは、大阪のでは、大阪のでは、大阪のでは、大阪のでは、大阪のでは、大阪のでは、大田町工時中列車で、大阪のでは、大田町工時中列車で、大阪のでは、大田町工時中列車で、大阪のでは、大田町では、大阪のでは、

緊縮宣傳映畵

廿五日演藝館で

長春観兒鷹でき三十日旅順で

地ツ年盛と歌台 サンピングに起

河子行

屋ケ龍海賀緊落に窓加りべき戦

に兒童、連出發

戦領の歴史を語る

満州公弘經濟縣静空融合の主艦にて緊縮宣傳並に國民縣執作與に登 十分より變山微響館において入場 一大分より變山微響館において入場

艺人

道は徐行なが

警に於て睾天附近の釋長區長

カスク間二十五線里)間、セレンスク、ウスキャクタ (トロイサブスク、ウスキャクタ (トロイサブン 乗用に供すべしと云ふ、予はオラ も今夏六月より再閉し概次旅客の も今夏六月より再閉し概次旅客の りをオランバートル間の郵便飛行 二機を日撃せり、オランパートルよりの翻途アルタンポートルよりの翻途アルタンポー

撫順事件を想ひ

邦人の決意を促す

3

睾

、オラン、パートル――軍臣汗リエ(鳥里雅蘇豪街道上)間 跨江 | 吹林|

元、鳥里雅麟豪——科布多——ビ モンデ——-イルタウツク間 - 昌廟克穆猷

であるが、其の國の上流者と夜會 新聞を見ると契調大便に何某が に動っの契約通で滅性であると 関光紙背に徹する人なり得ば幸ひ 経過であると

リエー―島里雅磁磁直通線 リエー―島里雅磁磁直通線

頭・克魯倫河沿岸にあ 一切敬禁せり

九百六

....(13).....

0

上戰術的清算 K,O, #

電信は目下既

子 (本) は (大) を (大

は、 比無概は製して今の智識階 を吸ひ洋樂に関略する今日の青年 を吸び洋樂に関略する今日の青年

本解戦、東郷元脳、大西郷を有しは臨功行賞の常否を敬て言ふものは臨功行賞の常否を敬て言ふものといが、日本の政府強びに記聞を知れりやを疑して實験を知れりやを疑して實験を知れりやを疑して

(二)郵(便) 郵便制度施行せられ、関郵便の連続無く往復の自鵬車其下郵便の連続無く往復の自鵬車其下郵便の連続無く往復の自鵬車其下郵便の連続無く往復の自鵬車其下郵便の連続無く往復の自鵬車其下郵便の連続無く往復の自鵬車其 一、オラン、パートルーデルタ し一通話一分間八十仙なりと し一通話一分間八十仙なりと 一、オラン、パートルーデイク リエ間 三、オランパートルー・乗員子間 生 (14) 大黒町一〇四番地耳鼻科大黒町一〇四番地耳鼻科大黒町一〇四番地耳鼻科大黒町一〇四番地耳鼻科大黒町一〇四番地耳鼻科大黒町一〇四番地耳鼻科大黒町一〇四番地耳鼻科大黒町一〇四番地耳鼻科上て頂きたいものです、附近で居ることですから夜間して居ることですから夜間とけでも猫摩機の演奏 機器をはしつ」あり 

0

飛し

生ケ浦について 展ヶ浦の西瀬岸に、今年は設備が、或ひは、黒石礁にあるやうな、成が、水泳と云よ見地からするが、成か、或ひは、黒石礁にあるやうないが、水泳と云よ見地からする。 と、あまりに遠くまで歩き出なけ しても前者の方がいと思ふが、何ならない不便さに、矢襲東海 望する大第である。 ればならない不便さに、矢襲東海 望する大第である。

▲高所より観る (永田青 屋) 東京市長で豚幹論者である、名の赤す如く青嵐氏は俳句を吟むそして本書の到る所に氏の得點者である、名の赤す如く青嵐氏は俳句を吟むそして本書の到る所に氏の得點を記者である氏の面目は全面に対滅解氏に送った薬害油信と氏が處々で試みた講演とが土豪となって出來上つてゐる事が解る、また所々にたのなりした旅行訳を組行文を物かからした旅行訳を組行文を物する人としても非常なず能を持つてゐる事が解る、また所々にたのなくない。また所々に たと全く同じものではないか。 「ホホ……!これが認ろしいので すか。この人形が――これはただ の人形なのですよ。でもこの人形 には魂が曲つてゐます。恐ろしい 分らなかった。 ゐるのですよ」

水外

ロシ

解三十萬基米に上ったた、故障 のため使用不可能となったもの のため使用不可能となったもの では要、負傷一名に過ぎず、 大百基瓦の爆弾は深さ入米、極 三十米の孔を誇つてその恐るべき威力を示した。 本の別なく収録してある人を収めてあるが、ロシャの有名な政治家、 を取けて関スを取が、ロシャの有名な政治家、 を取けてよいて関く使はれる新熟語、 において関く使はれる新熟語、 を即にロシャ研究者だけでなく を即にロシャ研究者だけでなく を即にロシャ研究者だけでなく を即にロシャ研究者だけでなく を即にロシャ研究者だけでなく を即にロシャ研究者だけでなく を関東京市中込區調番町本紹希波 を関東京市中込區調番町本紹布記して を関東京市中込屋調番町本紹布記して を関東京市中込屋調番町本紹布記して を関東京市中込屋調番町本紹布記して を関東京市中込屋調番町本紹布記して を関東京市中込屋調番町本紹布記して を関東京市中込屋調番町本紹布記して を関東京市中込屋調番を関東京市中込屋調番を関本経典である。 「これがあなたのお父さんの殺した女ですよ。無難に振捨てょつぶ

いた。 いた。 なに至った。 いた。 ないて のに強はヴェルダン職 において のに至った。 たい。この女が震測の空で、 
ないてるる時、 
あなたのお父 
で大金持だの慈善家だのと世間の 
で大金持だの慈善家だのと世間の 
としてるたか、 
このパリ

いなうとした。然し、その野は、 いなりとした。然し、その野は、 なりませんか」 はうとした。然し、その野は、 ない言葉はまるで はうとした。然し、その際は咽喉の奥の方でひつかゝつて出ない。 あゝ、父の罪!それは知らずに犯した事だけれど、それが、こんなした事だけれど、それが、こんな

がの役に立たず、搭職力を機能であったと同様、 別職においても職等初期のそれは 信を職務と極め、機関統や無線電 に登録を極め、機関統や無線電 に登録を極め、機関統や無線電 がの役に立たず、搭職力を機能 を対したものは殆ど無く、上 を対したものは殆ど無く、上

潜航艇公司

院ととなっています。 では最大の飛行機図として戦時中、 では最大の飛行機図として戦時中、 では最大の飛行機図として戦時中、 では、一方のでは、一

Rだ事だと思って、第二の女と 「あなたのお父さんはこの女が

が、そこにさ、つてゐる一本の短い、まるで蘇付けにされたやうない。 まる一郎 ―― 歌歌の上のいれてゐるとす器に血

くこの女が震測の空で、本腹でなると殺して了つたあなた ||一個人の機なのです!|
||一個人の機なのです!|
||一個人の機なのです!|

娘です。だからあたしは、此の女の「さう。あたしは此處にゐる女の の名にかけて復讐するのです。 飯です ナル

入口類の国の大学の関係を表現のではいり下さい

□類似薬御注意を乞

下富坂町二〇

毒

**監整**園

問題用大橋を御使用になれば値段も大變お安く付きます

気になっているです。 何んの観利であたしを……そらて のでするないです。 は、まなたは一能この あなたは私

「さうとも、あたしこそ出津の名で行はれた春日龍三の唯一人の子れてゐる女の間に出來た娘……それでゐる女の間に出來た娘……それである女の間に出來た娘……そ

胃癌の原因胃潰瘍は最も多く

をないて居る、整層のできた。 世界的の大家たる山緑地士の要表 は電紅は、胃療の多數(六三%) は電紅間標準がら変生すると云ふ は電紅間標準がら変生すると云ふ でになって胃腫瘍がら変生すると云ふ でになって胃腫瘍がら変生すると云ふ

は一般を表現し、これがコデレるとを学になって胃 を表現を表現し、これは重に重重発力至 性感酸劑、文は苦味剤、液化剤を は一般である。 は一般である。 は一般では一般である。 は一般では一般である。 は一般では一般である。 は一般では一般である。 でも大部分この様況によって胃 るが、これは無症的で根本的の療力。 なが、これは無症的で根本的の療力。 慢性胃カタルと 消化不良症

『タラコン 全國樂店に 十錢、二圓五十錢 、慢性總用で、慢性總用 定を乞ふ あり 十二錢塩

藤 亂步作 幾久造畵 (143)庭 最も多 衞

は本書の、唯一人の要なんです。 たたのお父さんにとつては何でも ありません。まして、その間に出 来たあなたなど。春日龍三にとつ では何んの闘係もない、野合の子 これがあなたの上に をこんなに苦めるのです。一體あさい。あれ、あなたは何故あたし 自家中毒等から起る胃酸過多と動脈硬化 本症は胃癌と誤られ捨ておけば癌腫にも變症する 胃腸病の皇漢療

恐るべき胃潰瘍

法

お徳用リ

韶

大連市機町中村景太郎

林

酮

年 りょく 三拍子 がった

庭に打水

1

浴後の

一杯

をそのは、にくわつと見開き、その指は激しい苦痛のために臓空をの苦いに変である一をそのま」にくわつと見開き、その指は激しい苦痛のために臓空をさっと酸色をかへた。密果物である。花子はそれがどうしてこんなされた女!それがどうしてこんないであるのだらう。あ」、まるの酸はあの死態瞳列所の中で見るという。

できまさがいい。十部も二十一もつと苦むがいい。 あたしたちの戦略も苦むがいい。 あたしたちの戦 胃病の中で胃癌に次ぐ悪性の病でそれが大筋に進行する傾向を有し胃腫瘍は胃の内壁に修が出來て、胃腫瘍は胃の内壁に修が出來て、 な出血して生命を

間で病気に苦んで居る人が違い。 の對症薬とは全然違った作用があって、胃壁療 つて、胃壁療 の対象に等して、胃壁療 の対象に変しなどのでは、 の対象に変しなどのでは、 の対象に変したがない。 のがない。 のが、 のがな。 のがな。 のがない。 のがな。 のがな。 のがな。 のがな。 のがな。 のがな。 のがな。 の

暴暴食飲

何を考へる事も、 い」のだし

作子はその鍵を地獄の業人の中 で聞きながら床にもつ伏た。

言って

少年中年に多い 胃酸過多症

擴張

癌

下胃

停食滞物

酸異常

發毒

腦

海流 中等した。 一〇〇グラムの中に於て骨液中に放射を含むである。 一〇〇グラムの中に入て骨液中に放射を含むである。 一〇〇グラムの中に入て骨液中に放射を含むである。 一次は上の整数を含んで思ると胃液・ 一次は上の整数を含んで思ると胃液・ 一次は上の整数を含んで思ると胃液・ 一次は上の整数を含んで思ると胃液・ 一次がある。有を起し、原質酸を含んで思ると胃液・ 一般が診解、寒寒氣性、の悪性、 一般が診解、寒寒氣性、 一般が診解、寒寒氣性、 一般が診解、 一般が診解、 一般が診解、 一般が診解、 一般が診解、 一般が診解、 一般が診解、 一般が必然が、 一般がである。 一般がでは、 一般がである。 一般である。 のである。又 能が旺盛になりて気根を一掃する 能が旺盛になりて気根を一掃する が生理的になり、胃の機 胃アトニー症と 胃擴張とは

日本人に最も多い病氣である、これは異飲寒食等のために、胃運動の降害に の変弱地数を楽し、胃運動の降害に の変弱地数を楽し、胃運動の降害に に乗べず、一種云ふにいわれぬ機 がな対果がある、それは単理的説 にコデレた悪性の慢性胃腸患を放 にコデレた悪性の慢性胃腸患を放 ないまでもなくあらゆる療法 できた。 ないまでもなくあらゆる療法 できた。 ないまた。 できた。 ないまた。 できた。 できたた。 できた。 できたた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できたた。 をきた。 できたた。 り、化学薬のがく理刺戯を胃粘膜や牧飲がや、消化薬等とは全く異ないの一時的調酸剤 市區村落に現存して、デラコンの電影のという。 市區村落に現存して、 しかな証據が、 皇演業タラコンを原因 天下至るところの するものであ

夜

のめば飲むほど胃が筋の弛緩を引める。本類を連用土れば其日から薬 以らずに治る( 触明書運 島) ○ 楽慣 三頂、六 頁、十二 頁 ○ 楽慣 三頂、六 頁、十二 頁 が、蓄積されて、 対対を連用す 切らずに治るの

びその卵の殺虫闘除に絶大の効力がありま

して而る人體には

一世紀を守受し得を治癒し、 」の藥價 た黄色: 罐に兵士の鱠が掛いてありますから他の殺虫剤と御無害 衣服調度を絶對に汚しません フリツトは黑帶を巻い 混同遊ばされぬ様御願致します

智陽の機能を復活

しめ、

**庄**四件编加品 商元野 五五町伊紀市連大

疫病を媒介する恐ろしい蚊の犠牲となり易 眠る前に必ずフリットを撒布しませら 特に夜は蚊の活動時間でありますから

タラコン 科學を超越<sup>した</sup> して治療に導くのであ クニンゼリ (許特重部) 薬除驅蟲蛔の一界世 88 68 50 to 8 「恐ろしい蝦蟲」と題する册子あり御申越衣館道品 まざる蛔虫寄生 確に蛔虫を驅除 副作用の無い的 者よ! するマクニンを

店商吉女澤養 二町修道版大

無心に眠る小兒の肉體はマラリヤ熱其他の 危 險

フリットは鯛 南京蟲 蚊 蚤 シラミ 飛蛾 蟻 油虫及

Distributors for China: MUSTARD & Co. Ltd.

の今嬢は訪

权

7

入

帽を描くここが

何より好きな

は、イベミガキ、場が、音機、日用 のテント を出り、運動用具、下し、海のテント を出り、運動用具、下し、海のテント を出り、運動用具、下し、海のテント

實用支那語會話
殊父固太

固太郎

★着、毛布、浴衣水着、毛布、浴衣

ラデス

9 私は彼人達に渡さうと思つて居 思つて居た所です 居ましたか 居ましたか

モミ

療治御選みの方は

八番へ

下宿

には カサ 及胎毒の特 が発育ます 大連劇場隣根本郷司電七八六二

求める恰好で右手を差出し、

失識ですがあれたは僕の奥さんではありませんか?」

本語の世話で例年の如く水明瞳に 10 温是小要繁的東西を開始された。 6 8 美麗妃 7 不然我正要送去 7 不然我正要送去 7 不然我正要送去 7 不然我正要送去 7 不然我正要送去 7 不然我正要送去 8 悠要送台棚兒啊 9 我要必給他們 9 我要必給他們

1これは誰が置忘れたのですか 2 私が忘れて往ったのです 3 ブ・貴方のでしたか 4 エ・、私は今思ひ出したのです 5 貴方來られて丁度好かった

1月 各ポール卸 店譲 遠にして親切なる繁社を 御利用あれ播響町 一七相互社 御利用あれ播響町 一七相互社 で 東京の御用は 大連奥町八二 安達弓矢店 大連奥町八二 安達弓矢店

大東二葉町六〇 東大連二葉町六〇

服

品親切本位買受

日蔭町 たじまや電六六〇一番

管衣 婆 婚禮用 はかひや電五四三七

實印の御用命は

是 是 是 整 致 撤 下 的 啊

譯文

朝日関爆東へ関町六六大郷日関爆東へ関町六六大大調・大田線通にて事務所向

鈴木丈太郎 雷

電話四六九二番

大

チチモミ大連市

鈴木丈太郎 電話四六九二番

田順天堂 電話三二〇九番 対戦總督府官製

「マアこの方は:

三人は目を丸くして笑つた、紳士はテレて見さがった。

13

婦人の方へ行きその中の一番活い、一番美しい婦人に向ひ撮手をるた件の親士の目は急に光つて來た、と、サット立ちあがつて三各の趣線が靜かに彼女等の方に注がれる、今まで何か考へ込んで客の趣線が靜本した、三人伴れの婦人客が入口に現れる、車内の乘列車が停車した。三人伴れの婦人客が入口に現れる、車内の乘

シト 標。長順、

僕の無さんの

沙

◇其他

テント、アンペラ、ローソク立

6

热筒

育は外しくフランス法を置守

(此方法では物理製上非常に酸ら 方法を逃行するには教育者と被教 方法を逃行するには教育者と被教 方法を逃行するには教育者と被教 方法を逃行するには教育者と被教 に低腦者に難しては目的を達するが故 に低腦者に難しては目的を達するが故

先日

町四番地の御宅を訪れる。 ・ で、見元さんの書はまる在學生中一番でせう」 をは1点を選出の一番でせう」 をは1点を選出の一番でせる。 元清子さんは本年十六歳、度形の 東の融さらなお綴さんである。 一先日秩父宮殿下の御台覽にも 供しましたし、見元さんの書は | 第生 | 高女三年松組の見

ましたが不思識に の人形や机等を書きちらしてゐ 私等

見元清子さん 子さんが可愛くてたまらないらし で五人兄弟の内たつた一人娘の清

お母さんは清子さんの数章には 可成り黙心なもので 「清子は身體が繋いものですか ら今は其の方を心聴致して居り ますがそれで時々私が聞いて外 格か判らない位でした」と とというない位でした」と をみて思いたものなど何方が書 をみて思いたものなど何方が書 をみて思いたものなど何方が書 盛しさらに話す。



一部との男の方が通りがよりに清子のの男の方が通りがよりに清子の が忙しくて不常緑り御も描きまだ在樹中ですから今は慰校の方だ在樹中ですから今は慰校の方 せんが、 それでも描かしときま 行人。

つて滑子さんの識がは益々伸びてとの言葉の通り良いお母さんを持す。 したら一日中でも描いて居りま

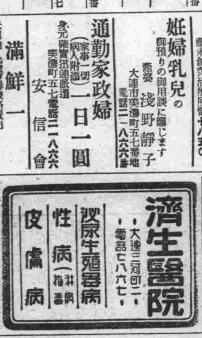
「様下手ですから迚も駄目です」と未だそんなことも若へた でも入つて寒心に習ぶつもりですかったから壁枝に訪ねて行つた。かったから壁枝に訪ねて行つた。かったから壁枝に訪ねて行つた。 見えます」とおっしやる。 一部を放けたことがないが、な 機等生である(常興は悪生高 を等生である(常興は悪生高 傍から先生が た 市品 参復興公債費買金融 市古 オートバイ質物完全品六 中古 オートバイ質物完全品六 の週、百里、百五十週其 他四公園一四三 藤下修繕垣 カフート向下宿向卸又小曾店方至急來談播勝町一一七相互社大小各議店多數有希望 不用

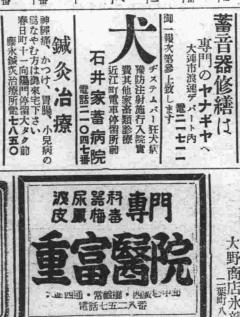
高校なるの歌の歌の 白帆 塵紙 改良の三山島紙版中に家庭向徳用の生涯 此印に限る 此印に限る





大連市吉野町二五 野中醫院 性病。韓書林展











●適應企●額面神經痲痺、小兒痲藥、上下肢痲痺、脚氣、中風症、陽節痺、上下肢痲痺、脚氣、中風症、陽節変を治療、乳はれ、乳ふそく。薬療験、乳はれ、乳ふそく。薬療、乳はれ、乳ふそく。薬療、乳はれ、乳ふそく。薬療、乳はれ、乳ふそく。薬療、乳はれ、乳ふそく。薬療、乳はれ、乳ふそく。薬療、乳はれ、乳ふそく。薬療、乳はれ、乳ふそく。 大連市西公園町百五十三番地大連市西公園町百五十三番地大連市西公園町百五十三番地大連大学、

藥學博士工學博士高峰讓吉氏發見

すべての胃腸疾患に因る食慾不振



博・ハリ 大連市漁港町五丁目二百一番 が藤は関家興隆の基本なり 大連市漁港町五丁目二百一番 大連市漁港町五丁目二百一番

傳家 お



份末及錠劑强壯酒等

内外醫家の實驗報告集あり御申越次第進呈了

肺結核其他の慢性病に因る食慾不振 神經性食慾不振 (婦人に多しと稱せらる)… 上記の場合タカヂアスターゼは能く食機を亢進せしめ 延ひて祭養を佳良ならしむる效果顯著なるを多數質

大海市山縣通一九三 裝式會社三銀馬聚開 共株式會社  $\equiv$ 

その教育氏

るに歩だつて人類和愛の大蘇悲の所で、る。故に観賞の嵩むを挑す

福雨上りの七月の空です。 太陽の出い荒綴は、夏の近いの 太陽の出い荒綴は、夏の近いの 大陽の出い荒綴は、夏の近いの

大連醫院耳鼻咽喉科醫長 醫學博士 塚

本

寬

Ż

不良是童

も皆生気酸刺として夏を讃美するであるかの様に見えます。野も山

獨逸法に據る

は一度は弱い聴言啞學校で今泉慶

| 歌を唱ってみました。
しかし、こゝに夏を喜ばぬ木がありました。それは、さあ木の名は分りませんが、町の人々は「御は分りませんが、町の人々は「御

枯らしてしまつては御先郡線に申へん心配しました「御城の樹」を

市長さんを初め町の人々はたい

調がないと思ったからです。

事を切に希望する次第で有る。「陸級育に理解ある御援助を賜らん

を得て炭礦よりテント 1 張を借用 たり得るの自信を得たからで あった、それで約四十名の希望者 あった。それで約四十名の希望者

なつて事心目的に向つて努力し得 た、緩いて昭和三年度も同様なる 方法によって行った、回を重ねる に從ひ生徒もこの生活に慣れ樂し な除分な所に力を注ぐ必要もなく

女中 数名人用十七八才より二大会 秋月一八章 電話七一五五番 ホテル 電話七一五五番 ボテル 電話七一五五番 ボテル 電話七一五五番

らぬ事と思ふ。最後にこの機會を の運動開拓を深く思はなければな

要にラウドスピーカーで である様にもて言葉を愛せしめる途には種々の方 には母音を後には子音を愛音せし ある様にして言葉を言は十様にす する。のは之を種々の方法で利用 する。例へば大連聾啞麼校で行っ である様に指導者の言語をマイク ロフオン増幅装置を用ひて機大し 口話法の根本 口唇の運動を つて優れた

嬰啞兄が後等の吶親に附添はれつ明氏の窓耐努力の下に二十數名の 底でも<br />
を<br />
でも<br />
でも<br />
を<br />
でも<br />

なる事を充分承知して居ても口話 作ら級が異々も述べたい事は此種 の特殊教育には曖昧見を相手にす の特殊教育には曖昧見を相手にす るのとは遠ひ生徒戯に比較して深 を変する事で之は止むを得ない 優秀で合理的

言語を再生し

され脱衣母その他に避難したり或され脱衣母その他に選をの降雨に備まるのであるのでみ得る粗末千萬なものであるのである。 質飾中は敷度の降雨に備まるのである。

石け

安給 農まで デステーニュール四 要島町一 芳渓景電ニニュール四

**社員** 招聘年齡二十五歲

田 冬 子 し簡単なる設備をした、そのテン

待つたこともある、或る時は炊事は一夜をまんじりともせず夜明を

見管雨止を待つた事など忘り前食も十一時頃までなし

まる石けつた

電電三〇八英學會話職惡文案起草

タイピスト短期養成

壽司

は常級器のサクラすし

行足あげて

英文 彦成並無印書監部通九六 彦成並無印書監部通九六 八 英 3 會

用具の準備 ◆共同炊事用具 参共同炊事用具 ・スープや子、水桝や、ブリ ・スープや子、水桝や、ブリ ・スープや子、水桝や、ブリ ・スープや子、水桝や、ブリ ・スープや子、水桝や、ブリ 吞、野菜入籍、藍油樟、睡<sup>木</sup>線 パン、蒜館、パケツ、甕鑵、湯 キ製織、片口、タワシ、フライ 一、生活に拘束なく自由なる天地 で、生活に趣味あること 三、同經費にてよい食事がとれるに思ふ様活動出來ること ため海岸に大幕を張り十名宛交代率中と合宿しその一方にて經驗の

石はりけった

お空のやうド

などによってその生活が不便なること はテント生活をなす批監の下に新 はテント生活をなす批監の下に新 はテント生活をなす批監の下に新 に 歴校にて天幕二張の新鵬するこ により脚々思った困苦失敗は後年により脚々思った困苦失敗は後年 | 一部後二十日を通じ雨は一度も来ら| 空することにした、その年は幸ひ| 空したるため前後二期に分つて収 よい思ひ出であつた、むしろ平凡のよい經緻となり且生徒としても

く、そして殴べ自然の慰安に貧乏して行く、この流れに抗するものは自然に闘る生活ではないかと思 澤は人間生活の質劇さを弱めて行 日常の必要を通り越した虚骸や警 の態味をとりもどす機會である、 の態味をとりもどす機會である、

左にそれた。 聖徳街一丁目一九 瀬下 守下宿 めにお世話致します

**貸家**場・青雲臺二十八平家 原民附地下室四五圓 姓名在社 風民附地下室四五圓 姓名在社 風民附地下室四五圓 姓名在社 ・ 一 一 一 一 一 一 本 聖章傳四丁目一七五小森田部井、電話三九五三番田部井、電話三九五三番

薬は

家(専 お灸 鳴ハリ灸専門療院 漁速町五丁目二〇一番地 漁速町五丁目二〇一番地 第末丈太郎 電影四六九二番

**薬及治療** ヒシカワ薬局 電話七八九三番へ

東京式桐筆等 若狭町九〇番地 江戸屋家具店 電話ニニニ・ 

全オットメンス

中乳 パタークリー・ 横洲攻場 電話ペー三四番 大連牛乳株式會社 大連牛乳株式會社 

東那服の準備有日本機響を那服の準備有日本機響

高品付八五胆より八五胆より八五胆より八五胆より八五胆より八五胆より八五胆之の一人之後一度 一九九、一二一系過

三番地の五 永島電二一六七八四条 小精致升 大連市漫路町 か可口仲町九一 向上社が可口仲町九一 向上社 習字 五球品 ラヂ ラデ オは何でな大勉强 高級優秀品品物修理 電話八七十二番 部分品は格安實用品 物修理 電話八七十二番 湖成数发费夜 電八六七五

ミシン、競別同島と

事務 員縣集

木の葉がしをれて点ました。

くにつれだんと一元気がなくなり年はどうした事でせる。夏が近づ

供が二、三人ではずの頭らぬ様なはすくと伸びて今ではもう子 大木となってゐました。それが今

長い 御娘がこわされて、歌ばかりに 際の水にひたしてをりました。 のぞかせながら、その緑の影を御

童

話

お

桐

野

陣

太 鄓 樹

その昔、お侍が絆を着て、

天主献の白壁を木の間にちらく、一別を指してゐた頃「倒城の間」は

◎ 三行二回 金八拾五錢 ◎ 五行二回 金八拾五錢 ◎ 五行二回 金 會 圆 ◎ 十行三回 金 會 圆 亚右右回 金 會 圆

古本 領拂下の節は何卒御用命 領拂下の節は何卒御用命 電の 特よく他店に出來ない相解迅速で気 帝品 郷店土地建物費賞金融は 平高洋行へ 電五五五七番

三河町 中土 脚戶物 唐木 海速町 電話 染物 マホ 1ピン

〇一五、入六八八 回収置並に修繕 に収置並に修繕 町のはる 浪速町 等へ

水二度指導の間差俱樂部の間差俱樂部

三共楽品

で、昇物の

政黨の野悪僧徒の跋扈

時代於法院議員と惡信

全快者 牛田 義治機

有田ドラツグ 寒黄 所 にて 服薬全快 (肺 精)

で、では、大学のでは、まましいは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、

のである。

難治たる肺病ろくまく治療の

針盤は商會の製剤である。迷ふことなく此

治る

後

は

家

0

S

をしも信ぜざれば天下に信をおくものはなり 病良藥と自他共に許すに至つたのである。

に世の批判時代は過ぎ去って、天下公認の肺

である。商會の幾表する全快者は守こまでも

具質の全快者で、虚偽のものではないから既

義表せられるので大問題となるのは曽然の事復し、多數の全快者が出來、續々新聞紙上に

然るに其の難病が商會の製劑にて苦もなく恢

主會商グッラド田有

つある難病中の難病である。

本家蔵じの原

肺病全快の體驗記を

有田ドラツグ禀資所収早縣関荷見町

秧者 市鼠 孫治營

早縣武儀郡大矢田

有田ドラツグ専資所にて服整全快

と者 職山みね子機

血糖品和制油

白万。同



第二篇教 跡を野平家の現代相

の東壁を得たからである。(海盛は入道で間衣を掘り、海路は至線を解化し奉り、社會の秩序は全く系別、海路は至線を解化し奉り、社會の秩序は全く系別、海路は至線を解化し奉り、社會の秩序は全く系海り、海路は至線を解化し奉り、社會の秩序は全く系海り、海路は至線を解化し奉り、社會の秩序は全く系海の表と代表を表している。(海路は入道で間衣を掘りた。)

事の都合上、終日終夜側いたので私は日頃から體が膨いところへ仕

理せぬ様にと、

結核不治説を

見受ける有田ドラツグ 略市工病院で博士の診臓を受け、一般がして流汗ばかり出るので、釧

診て貰つたら、全快して居る、

海軍共濟病院で檢痰

全快者

坂部あき子

田岩

生の喜び めで

明を得た心持が致しましたので、

受け、同住光と云ふ養生法が細



れず、世界の醫藥學界で盛んに苦心研究もつ は難治として今に完全なる治療法を發見せら 我が醫學界は勿論、歐米先進國に於ても肺病

私は極く田舎の山奥に 育ち、何も知らないも のですから行儀見書を したいと思ひ、熊本塚 したいと思ひ、熊本塚

救はる

た気を増し丁度四點制速版した末、 に良くなり、元の銀度間と復しま に良くなり、元の銀度間と復しま した。その後は何の仕事をしても 配白く田 来、又形 設 することも なく家内中が愉快に暮して居りま す。これ個に 有田 ドラツグ 乗の になった。と歌説に増へません。同病者 のお方は決して力を落さず、一日 のお方は決して力を落さず、一日

安東県市

山田川山東栄宮东 山京町 泉邱水錦弓 高 砂

左記所在地の専賣所にて

請合藥 五

師並病院で商會の藥

自宅養生の注意

ーなるとあがるのにあがらず、とう一なるとあがるのにあがらず、とう一ませんでしたが、別を何時も午後に ・ 一なるとあがるのにあがらず、とう

飲されたと思って

のんだ薬で全快

旅順敦恕 東赤敦馬洋城賀町

詰南橋齋心阪大

製鑑松音田有

城居の代累侯達伊

(す稱もを城島鶴) 城島和宇

色Oは大禁物、超對に禁止せよ 病人の好む消化し易き食物を與へよ 家庭上の心配事は病人に聞かすな

がかて安眠せし

一朝 ラッジ 有田

特製治肺劑が自分が五國 しき 御買取の際左の如く頸 和蔥に栗瓶に 一大阪内・本町二 「有田 ビラッグ」 「有田 ビラッグ」

紛は

肺病
お
く
請
合
薬

大学、版本、津製合の代表者四十名は八大大統領に小川政務大官以下十六日大統省に小川政務大官以下十六日大統省に小川政務大官以下十六日大統省に小川政務大官以下十六日大統省に小川政務大官以下

尻目に

## 年記 青年團に令旨を賜はりし日一 今上陛下の東宮に在せし時

際生の表彰を爲すに決定した。講演會、講習會を開會せしめ要に青年順、實際都習麼校等の概別。要歐式を舉行せしむると共に、講演會、講習會を開會せしめ要に青年順、實際都習麼校等の概別。用二十二日を青年記念日と定むる事に決定した、當日は全國の青年觀聴所、男女青年職等に含了特に傳遍なる合資を賜つてから丁度十周年に相當するので女部省では之を永久に割念すべくず一様に傳遍なる合資を賜つてから丁度十周年に相當するので女部省では之を永久に割念すべくず一様に傳遍なる合資を賜つてから丁度十周年に相當するので女部省では之を永久に割念すべくず一様に明正なり、

倒產者續出

當業者減稅を陳情 片倉製絲が 先手で休業

女工の騒ぐを 邦商も支那商も悲鳴 しい執達所 から

電駅底であると商人は大こぼしでとなって資金の運輸は昨今全く停 上海名物の

府は17河=競犬=を収締るこ 【上 V特電十六日級】削京政 **らけて今後入場した支那人を** とに決定し上海波院は命念を 競犬収締 逮捕される

密輸事件は近く公判

職公判に懸される複様である が十六日職く改雑終7となり樹築 が十六日職く改雑終7となり樹築

中五日朝火の降雨は火寒に猛破を 日早朝職に復動した。震燈も一時 かまたの南山方面の電線が膨されて大・大和島山原の際風吹き光んだ賃 常は真大で林橋の如きも縁品とといる。 から南山方面の電線が膨された。 の四千貨南山豊原の二千貨を掘め 変響 なり南山方面の電線が膨された大・の物表で繋があります。 のでまた は は ストセント以上の見込瓜類高乗等 徴きたる信め窓に金融線は不通と メーセント以上の見込瓜類高乗等 徴きたる信め窓に金融線は不通と メーセント以上の見込瓜類高乗等 登場 からず この である から である こと は は なり 南山方面の電線が膨された大・の物表で繋がらず で を述べた、然しシベリー方配のと をでは五戸を一覧位とし百十デシ をは全部組合で簡単するのでいづ が表者があて、概重に監督し殿民 の代表者があて、概重に監督し殿民 の代表者があて、概重に監督し殿民

果樹は五割落里 停電、金福線も不通

令旨奉戴式を擧 に定める 十五日夜臨時休棄を愛表し目下紛 網を重ねて居り、所轄西大門器で るべく此の結果失業者三十餘名を 七十四工場全部休業すること、な 第十十四工場全部休業すること、な 國洋製糸も

櫻內理事長の 自動車頭覆

業 選現在と 表現の 表現の 表記

なるので同地方は不安

東洋モル更生 新會社に合併 氏は十五日旅順よりの陽涂、その高概盛一、代業士佐藤真八郎の諮高概盛一、代業士佐藤真八郎の諮問、世族院議員

の職味を平泳さで確はんとする領外を平泳さで確はんとする領外のまででである。こか三五秒のは二百二十碼、二分三五秒のまでである。 者多く主獣ホウランドは二百二十大に執つでは非常な脅威と見られ そのリレーチームは歴史的環味を米大概生訓録を持つて居る、殊に悪ないので、全 果の不況ではつた場が、総が、総が、というないのでは、というないのでは、というないのでは、これのでは、というないのでは、というないのでは、というないのでは、というないのでは、というないでは、というないのでは、

0

有し管では五百碼ッレーに四分三 大會に四百米五分二秒四の好タイ大會に四百米五分二秒四の好タイ大會に四百米五分二秒四の好タイ大會に四百米五分二秒四の好タイ大會に四百米五分二秒四の好タイ大會に四百米五分二秒四の好タイ大會に四百米五分二秒四の好タイ を抵迫するか見物である、 那語科専修の官吏が特徴を立て ト聯邦では

究所があつて速成的に動きたえクワには東洋語學事品を表えりには東洋語學事品を表現したが氏は語る が 「清南神郷十六日酸」南軍の飛行 大変 を生じ西張斯に不時融戦に 大変 を生じ西張斯に不時融戦に 大変 を生じ西張斯に不時融戦に 大変 を生じ西張斯に不時融戦に 大変 を生じ西張斯に不時融戦に 大変 を生じ西張斯に不時融戦に 大変 では 一をて如何にも 計議的に 投降した。 北東では 御数 歌の 飛行 とて如何にも 計議的に 投降した や できる るが 説 脚に は で は か で は か で な の 飛行

臆病兵の 逃亡防止

殿東州教館會東二部會公職常道通際堂教館館で難に決議されたる支

囘

十七日午後四時滿俱球場

一囘會員券一圓、

**灭十錢、二十錢** 

洲俱

報援

景品御

町東亞物産館樓上

行山家不幸 大連地方法院民事 部類官行山義光氏の長男義明(三 が理で行山義光氏の長男義明(三 した葬儀は十八日午領五時死去 した葬儀は十八日午後三時から出 した葬儀は十八日午後三時から出

る、こうした母歌は大連財衆では、け、 一振に整理を優美した店舗は太月十 本既に整理を優美した店舗は太月十 本 古響だとは痛ましい世相の間方沙院執達所は差押へ競賣の

手續き完了は十一月頃となる見込

製鋼所州內設置 各要路に陳情す

難に陷り

路に振出し州内影響に蒙き極力運 は他代政際、貴族院方配等の名要 其他代政際、貴族院方配等の名要 は、小澤剛氏は十六日大安左の が、北京な際の戦闘書を指縛省、議機 が、清後 が、北京ない。 が、北京ない。 では、大田大安左の が、北京ない。 では、大田大安左の では、大田大安を でが、大田大安 では、大田大安を では、大田大安 では、大田大安 では、大田大安を では、大田大安 では、大田大安を では、大田大安 では、大田大安

る場合日本輸入税法に依りし、製鋼機械は新義州にて企い製鋼機械は新義州にて企 مكي

エ大學の猛者連を 明大の追撃が見物 

原験に働らうとしない、後方で原験に働らうとしない、後方で原則だ、今回戦の長引くと共に彈藥の消費も互組に達した今に彈藥の消費も互組に達した今に彈藥の消費も互組に達した今に彈藥の消費も互組に達した今に可薬の原則だ、今回戦の長引くと共に軍薬の消費も互組に達した。

に取締り以て眼闘力の滅神のは此張だ各軍は之 にない、後方で

練習中でカリリ兄弟、 からは世界オリムピッ 官營事業の 獨占廢止 が陳情 飛ら既に到着 後藤氏講演會

青聯主催で

本使徒ペテロー日本組合教會牧師 関心に於て夏期修鳌キャンピング を開催するが講師と演題は

ソピング開催

基教青年會主催

夏期修養キャ

總議落を 商民 

イザヤ・ボーロ 支那海關長紅事小黒隆太郎氏

婦小內 人兒

科科科

田

ま

**代理店 茂 生** 

景話画七四二番

エリヤ士建協會常任理

ケニエル 福昌華工會社廢山一松雄二氏

四ケ年間で完成 西伯利の農民は不満 聯邦の派遣員語る

んで質ひたいと ・ 中夜本社長が

南軍の飛機

哀れ投降

三元七三二一九 四六七三六〇三八 六二五七一六八 四三三二二一一一 大三〇九七二一一一一一二三二二 大三〇九七二二二二二 大三〇九九十二八七四八〇六〇六八二八十 大〇二二二三二八〇二八十二 一六二二二〇一二二三七八〇四〇八五二 四四三二二二一一一一一一 七六〇九八六二七六四四二二三二二一 七〇九四一四九七六七〇六〇八八〇二六 三二五七八一四五九〇七八六四六五九八 入〇二四〇六五四〇〇四八七五四六五二 七六二九八大三七十五四三二三三二一三〇三四三四〇九六三一二一大一一三七十五五九七五四三九七〇五二六六七六二二〇八四二二〇八四二二〇五九二五九二五九二五

三二一一二三五七七八三二二十二二二十二二二十二二二十八四五三七二二十八四五九八四五九八四五九四二二二十〇五九四 

好評・美味滋養肝油カルシューム代理店・新館にいる場合 磐城町中元聯合賣出景品當籤番號發表

科專門 櫻井內科醫院 時で 應診 致

大連市沒建町 滿書 堂書籍 部大阪屋 號書店 大連市沒建町 大阪屋 號書店 で 野人見童の たが、 随音を指集したったが、 随音の変質を 選定、近く関東観音の変質を選定、近く関東観音が、 で おいて まず で は 十九 月午前十時から同所に 全委 で おりまする 尿膚皮 185

横銀牆番五二三 場 協 四 語 電 Ξ

電話四三時六五

・ 大製商 ◇ 志摩洋行・ 大連市者映町・ 大連市者映町・ 大連市者映町

0

界 名 東京風菓子謹製 图酒 マンデー(豊な味と香と微養の選リイテー社の ート代文人(精強がよりません) オート代文人(精強がよりません) オート代文人(精強がよりません) アン・ア・スル社の 社の必要品 ブ 瓶 人(本場の英選製で赤白色 を 人(風味草絶せる美薬郊外 食 料 00

8

物

新河滿蒙日本

**健宜に供すべく普及版とし、** 職制改制後の孫線社員の異戦 店にありては好簡の得意先名簿として至極便利であります。
の生活内容一目瞭然たるを以て、豊信の發受に、贈答品選定の考査に、又一般商の生活内容一目瞭然たるを以て、豊信の發受に、贈答品選定の考査に、双一般商在減蒙の有力官民を網羅すること三千五百名、會社銀行約七百有餘件、共に正確 左の如き破格的機價を以て發賣する事にしました。

新義州に設置の不利を説が

■日活現代劇臺本より ■

V

Minute and Mile

母を見

子は、足音をしのばせて聞つて行ない就色のデパートの跳殴を、倭怒と言ふ凝には、もう灯も見え 生ける壁の彼女自身を、千呂の許優子の、痰れ切った身體――足は んで行くのだった。

あ千あたとしたしんよ

あけて

では、 では、 では、 では、 では、 では、 できっけられるやうに店の中に、 では、 できっけられるやうに店の中に、 では、 できっけるやうに店の中では、 そして優子は、 そいが、 できると手をさし出して云っている。 の一枚でも結構です
おめぐみ下さい
ど

子の細った陰のあたりを聴く打ち 出日日 · 還 婚 明 柳 文藝

せんき腰足

の痛

夜に奏効する

コリを和らげ痛みを消し

夏季多く發病する譯

~ 來てしまつた ながら強くさい息を吹いて云った

奥さん そんなことを なすつて お差しくは ありませんか ものませんか

満日聯珠 通信戦(二)

とがらして云つた。

女」ないという大きなとれてならべていましているというというというというというできないである。

紙幣を優子は静つと見詰めながら

何かしら彼女自身も笑へてくるの

東京市本鄉區嶄坂町五十二 

店から外へ低け出て行つた。

吸着療法劑

脚本

Щ 堂

渡

0=

オリヂナル

影器[]||[OI#

たやうに目を見張った。 桃士も女路へ だい

私にお支拂ひ下さい だは 建りの一つを

お支排ひはもらぞれで

牧堂が騒いだ。 店員が飛出した

好腳 安樂散

能效治主

胸。多う月に吸がある。

筋乳・ウマライ 肉のコ 猫リ

築店に有ます

神上リ

五二十章

一三十四鐘

害虫驅除に イマグ殺虫劑が

だった。 様長に響く人々の足者 から夜更けの傷の鑑から闘を舞るしながって いの母を見よ」を繰返しなが

日々にわめきながら、

餃子の後

この母を見よ

女泥棒だ

使子は最後の決心をした。

たかば店を締めかけた様に、にまずやかな女選の笑ひ覧がふと優子のほは、先程自分が犬のやた優子の眼は、先程自分が犬のやたのものものものでは、たて立ち止まつてある自分と、店の中で選がある自分と、店の中で選が

(六四)

畸面座

リウマチス 天氣豫報をする 一番適當こ決定した 湯上りの

# 注意!

凉、夕。は夏。

疲れを癒す妙布のキ、メ

19803 **產體**肓 常

大連市連鎖街(電氣遊園下) 電話2225 | 樹. みにコイ

一阿波共同汽

空察診男岩

室察診科保

政記輪船份有限公司 聚計八表四二四二番 聚 利 號 七月六日芝罘

川日本理

朝鲜郵

●歐洲行 | 的おん丸 克克克斯 哈 机磁 克克克克 克 克克 七八七七 八 七七 月月月月 月 月月 大四天之 日 日日

急 H 開

开

在中區車室町港信市連大 各九五八四話電

大連市北大山通十四番地 軸

日華自動車研究所

始

佛蘭西料理

**製造町四丁**a

CEMASA

大連市三河町二番地

日下齒科酱院

カフエ・

天津迄測航 午前十一時一

① 大連汽船 曲机

金島谷汽船

代電五五五四)電七〇三四)

日本政會賦大連出張所用本政會賦大連出張所

景品

付賣出し中です 

中元御贈答品として

嵩張らない して贈り主の 高貴の品ではありますが 香水を御すしめ致し 季節向の 氣のきいた 頭で…

ゆかしい心の香りを永く保つ そう

難貨店等にて御問合せを願ひます -高貴香料 (魔情+玉鎌) 壹袋の



田九八五四話電

實業之日本社

最近减多

△書著生先河飯▷

▼支那語基礎と會話大全題で

語速成講座完了器:08

科合本概認

大連市澳速町

大量 大連四川六一番 基本大連四川六一番 基 號 分 店 基 號 分 店

ドルル 支那語の字引 愛え

中陸

主幹 發行所 飯河 道 雄

文那時文階梯口語譯法 東代白話文範 北平官話伊蘇普喻言 東代白話文範

中込炭配本處 費會 六ヶ月完了 ハケ月完了 金金金 五二 國 五十 後 寶 五十 後 一ヶ月一棚刊行

没送送 料料料 廿十四四

(本店)東京(考店)京城・察天・体順日等、等(連鎖商店等)系替大連]二七日等、等(連鎖商店等)系替大連]二七日等、東市、海市、浪、速町、坂、替、大連五五番・大、連、市、浪、速町、坂、替、大連五五番・大 大阪屋號書店 冠標 各 店儿

華民國大元帥張 作 尋閱下題字

一 でも御利用下さい何でも御利用下さい

れ船で御旅行の事は

むにある

**| 大連商業銀行** 

よせ歌謳。

健康創造の美酒を 潑喇たる肉體美を 健康は人生唯一の至實なり 飲め!而して 味と滋養の蜂ブドー酒ー その潑溂たる健康を創る美 謳歌せよ



人生無上の幸福と健康を!!

かけいて窓にお覧に着する機数のかけの値において窓にお覧に接続に着する機数ののでは、職職の版本は他石橋数ののでは、

にて他級の希望通 いて他級の希望通

か 常局も頗る横重の應度を執り敷地 する傾れもあるので政府職も請綴 は それに附随して種々の飲みを招來

努めて居る 識は表面こ

政府他の歴度が何處までも一致せ の 「無見せるものと見られて居る、 に起因せるものと見られて居る、 に起因せるものと見られて居る、 は知りからの が終んであるの

意見相違點觀測

拓相

城は未決定のまゝ歸任か

たいといふので、約 記載して恣も離手す である。

識この敷地場所については関係各

ふので、

打木 蝦相より国有機消收入は經濟

るが旅客貨物收入においては昨年

る慰養も無効となるので何等か石米間に交換した條約の解釋に關す

【サクラメント中四日舜電油】常 邦人會社裁定 町田農相閣議に報告

は、は不可能である旨を報告したので解判数成派は極力報酬の速行を し反対派は定足数を献がせる爲め リリス氏の抵案に成る 態的討論数部を急ぐに至った、然 が対外に何等級密協定、默契 の留保はこれに依ると強に日英

ステングトン十五日 砂電通 1 保約 では 「民は本日総設の職件を刑等自由 「民は本日総設の職件を刑等自由 「民は本日総設の職件を刑等自由 に拡張する旨を強表した

市民職査格なきも條約に 本人は借地棚を興へられ から右出鎖は何等外國人 に抵觸せず

人土地法

第五大四互明倉職を開催する事と

牧野内府園公訪問

田田 『緑津十五日酸電通一枚野内所は 市職艦につき約二時間に直り艦隊 西隊寺公を訪問し取縮際約案御諸 でをなし午後一時五分正院酸列車で

驚上院器員ワットソン氏は本日フ 「ワシントン十四日發電通」共和

関する投票を行い氏は本出フ

係約案制諮詢に関し左の如き意れに依つて生ずる政尉の前途及れに依つて生ずる政尉の前途及の前途及

第五次巨頭會議

豫定を變へ十五日開催

度は一昨年に比し一分九厘の減少 を示してある、然るに本年度四月 が至六月の收入は制年同期に比し が至六月の收入は制年同期に比し で記してある、なほ一、二等派客

政府當局は前途を樂觀 国教しなくともよい の如く特に暑休前諮詢の の如く特に暑休前諮詢の

日本一鵬四分七厘で英米に比し物 情下落歩合は高いが然し其差は少 いこれに依つて見るも不潔類がず ないこれに依つて見るも不潔類がず ないこれに依つて見るも不潔類がず ないこれに依つて見るも不潔類がず ないこれに依つて見るも不潔類がず ないこれに依つて見るも不潔類がず ないこれに依つて見るも不潔類がず ないこれに依つて見るも不潔類がず ないこれに依つて見るも不必類がず ないこれにない。 取を大き

炭坑法修正案通過

勞農讓步

定である

支那當局を招待

機路局にこれが測量を命じたと 機路が最高にこれが測量を命じたと

門司で搬下げ割日は二十日頃の後、本元十萬石郷下げにつきト五日午前一時町田農村は協議の総料選くも明日中に搬下割り敷量等を發表するに決したが大職五十萬石を一方の保地上が大職五十萬石を一方の保地下げ割日は二十日頃の後、大阪、

のである

## 菱刈 司

汪

一精衞氏。

愈よ北

四園寺老公

本月末迄に北平到着

北方政府組織に着手

なに満足せず、百年の を確立すべく、修々 の茂生せる沃野に、 薄膜を注がれんことが



# 昨夜奉天に到着

高粱畑ご

することが、取りも直さす支那常局 一・・ 一・ 一・ 「果約的い方法を加味するなど」さればるものといふべきところと思ふ。 人口は年々蝟集し来り、農耕の合ただ害人は、やがて行き詰まらん 理化、時代への適應、新經濟生活とする補洲の原始農業に對し、そ への轉換を敢てすべく、長も適當とする補洲の原始農業に對し、そ への轉換を敢てすべく、長も適當とする補別の原始農業に對し、そ への轉換を敢てすべく、最も適當とする。ことが、取りも直さす支那常局 一・ 「早手里ただ高梁のみを栽培する」 であらう。この廣大なる沃斯に、

夏休み前の御諮詢

拉

說

の途につき本月末迄には麓毛の豫号で入月初め正式擴大會議を開催し政府組織の本筋に入るべしと確し北平十五日歿電通』改出派代表の下二達した報道に依れば王帝衛氏は既に香港を發し日本郷由北上

北方政府の措置は

代表更迭

0

切責任を負はぬ

南京政府内外に宣言

平井檢事に

法學博士授與

職してあたが近く無内紫外閣宣司 | 低せぬ事を製造せるものである | 大倉職によれて置支一切の問題を討てあるが要価ではこれが跳策を協 については縄民政府は一切の覧に | 大倉職によれて置支一切の問題を討ちてあるが要価ではこれが跳策を協 については縄民政府は一切の覧に | 大倉職によれて置支一駅の問題を対してあたが近く無内繋外閣宣司 | 低せぬ事を製造せるものである | 大倉職によれて置支 とにたつたこの | 大倉職によれて置支 とにたつたこの | 大倉職によれて置支 とにたつたこの | 大倉職により返済取司会長値を指してあたが近く | 大倉職の | 大名と | 大倉職の | 大倉職の | 大倉職の | 大倉職の | 大倉職の | 大倉職の | 大名と | 大名と | 大倉職の | 大倉職の | 大名と | 大 英政府再び敗る

が略左の如く意見の一致を見た

相は消滅を対象を

# 歐洲聯盟案賛成

週間内に投票不可能

の留保に修正を施さればならぬ模一様である

條約範圍を海洋

自由にまで擴大

マ氏米上院に提室

常の會社組織の出願に闘

機が事がに

日 日午前十時より第一職接端におい 大正龍内務局長、委員長となり、 一文 闘東職官有財産整理委員會は十五 申識者、翼側、貸付総等につき歌 大連市内の官有土地拂下げ五件 大連市内の官有土地拂下げ五件 大連市内の官有土地拂下げ五件 大連市内の官有土地拂下げ五件 大連市内の官有土地拂下げ五件 大連市内の官有土地拂下げ五件 一个人處分未濟のもの二百餘件も變 外一件、造林貸付四萬七千四百 によってゐる 一一大海及び普蘭店管內長蘭寺自二 一十六年及び普蘭店管內長蘭寺自二 一十六年及び普蘭店管內長蘭寺自二 一十六年及び普蘭店管內長蘭寺自二 一十六年及び普蘭店管內長蘭寺自二 一十六年及び普蘭店管內長蘭寺自二 一十六年及び普爾店管內長蘭寺自二 一十六年及び普爾店管內長

莫全權に全般的

回答七ケ國に上る

交渉權限を附與 先づ大使交換を承認

世 内では國策的見地より本事業の中 常東大陽係を持つて來ることは想 
一等 ず、現に優商相、松田が相の如き 
一等 ず、現に優商相、松田が相の如き 
一等 ず、現に優商相、松田が相の如き 
一等 が、現に優商相、松田が相の如き 
一等 が、現に優商者 
一等 が、現に優商相、松田が相の如き 
一等 が、現に優高性、ない事で、それに依つて 
一等 が、対象を示して居る、一部である。 
一等 が、現に触るを持つて來ることは思います。 
一等 が、現にないを持つて來ることは思います。 
一等 が、現にないを持つて來ることは思います。 
一等 が、現にないを持つて來ることは思います。 
一等 が、現に触ばない。 
一等 が、現に触ばない。 
一等 が、対象を持つて來ることは思います。 
一等 が、現にないを持つて來ることは思います。 
一等 が、現にないを持つて來ることは思います。 
一等 が、現にないを持つて來ることは思います。 
一等 が、現にないを表にないを表にないを表にない。 
一等 が、現にないを表にない。 
一等 が、現に、のが、表にないを表にない。 
一等 が、現に、のを表にない。 
一等 が、現に、のを表にない。 
一等 が、現に、のを表にない。 
一等 が、現に、のを表にない。 
一等 が、現に、のを表にない。 
一等 が、現に、ない。 
一等 が、現に、のを書が、また、また、また。 
一等 が、現に、ない、また。 
一等 が、また。 
一等 が、現に、ない、また。 
一等 が、また。 
一等 が、また。 
一等 が、また。 
一等 が、また。 
一等 が、また。 
のが、また。 
のが、また。 的交派の機関を附與され既に需支の需支正式資源に奠全職は全版 大使交換を承認した。これは南京 政府として壁内騒亂を窓はする一 策と見らる十五日モスクワから支 那他密使が鰯哈し最後的報告書を の諸件につき逐一その使用目的、一に日下辰太氏協命された、一十九章 と書稿を見ります。には今回會長に三浦磯郎氏剛會長六十九章 とは今回會長に三浦磯郎氏剛會長六十九章 とは、一には今回會長に三浦磯郎氏剛會長

一大人自主我
「馬りした」
「八月一日開始」
「東中であった東北東事が戦館の組」少線線を假じ姿態長は多分子製忠
「悪天特領十六日發」十四日英主 機は此程際立案を了したがこれに 立と同時に戦分感は悪山されると
「悪天特領十六日發」十四日英主 機は此程際立案を了したがこれに 立と同時に戦分感は悪山されると

小兄保險に反對

徴兵保険業者が隙情

力であ 【東京十六日愛電通】源信省にお | 特価突するを免かれず | 大学を受ける結果とたる處から富 | 、小兄保險と機が既 いて館施出歌中の小児死亡保險は | 、小兄保險とであるが、その襲い、国 | 、小兄保險とであるが、その襲い、日 | 、小兄保險とであるが、その襲い、者は結束して | 本(日下交班中)の名談兵保險であるが、その襲い、日 | 、小兄保險とであるが、その襲い、 これは陽保に合社の社員を選びる | 本(日下交班中)の名談兵保險であるが、その襲い、 これは陽保に合社の社員を選びる | 本(日下交班中)の名談兵保險とは其の | 、一、小兄保險とであるが、その襲い、 これは陽保に合社の社員を選びる | 本)に要は、 一、小兄保險とであるが、 これは「「東京特徴・五日後・高級東戸支」 | ・ 本)に要は、 一、小兄保險とでは、 「東京特徴・五日後・高級東戸支 | ・ 本)に要は、 「東京特徴・五日後・高級東戸支 | ・ 本)に、 「東京特徴・五日後・一、 」 「東京特徴・五日後・一、 」 「東京特徴・五日後・一、 」 「東京特徴・五日後・一、 」 「東京特徴・五日後・一、 」 「東京特徴・五日後・一、 」 「東京特別・五日後・一、 」 「東京特別・一、 」 「東京特別・「東京教別・「東)・「東京教別・「東京教別・「東京教別・「東京教別・「東京教別・「東京教別・「東京教別・「東京教別・「東京教別・「東京教別・「東京教別・「東京教別 職制改正

東北軍事委員會

で扱ってある。 で扱ってある。 で扱ってある。 を見た者の話によるとり事で扱ってある。 を見た者の話によるとり事で扱ってある。 を見た者の話によるとり事であってある。 を見た者の話によるとり事であってある。 を見た者の話によるとり事であってある。 を見た者の話によるとり事である。 を見た者の話によるとり事である。 を見た者の話によるとり事である。 を見た者の話によるとり事である。 を見た者の話によるとり事である。 を見た者の話によるとり事である。 を見た者の話によるとり事である。 を見た者の話によるとり事である。 と思ふだる。 との事である。 と思ふだる。 との事である。 との事である。 と思ふだる。 と思ふだる。 との事である。 と思ふだる。 との事である。 と思ふだる。 との事である。 とのをである。 とのをできな。 とのをでなる。 とのをである。 とのをでなる。 とのをでなる。 とのをでなる。 とのをでなる。 とのをでな。 とのをでな。 とのをでな。 とのをでな。 とのをでな。 とのをでな。 とのをでな。 とのをでなな。 とのをでな。 とのをでな。 とのをでな。 とのをでな。 とのをでな。 とのをでな。 とのをでな。 とのをでな。 とのをでな

はるびん丸船客

海 (本) 大部 (本) 大和 (本) 大

大三 五二四六後 六三不三三六一場 五五 八五〇五引 〇〇申〇〇〇〇

官有地貸付拂下

三十件を漸く許可に決定

開東廳の委員會で

哈市通過歸朝

省する山営地に水電あつた 事に就任内定の木村就市氏は十五 事に就任内定の木村就市氏は十五

沿海州の暴民

破血團となる

麻袋 出來不申

後

**徑路變更** 北陵鐵道

『東京十六日翌電通』大総監験任 は概察に関する洪都証であるが特 は概察に関する洪都証であるが特 に関とすべきは厳事者験中博士と

忠告を拒疑のの

について上京中の山巉沙が跳長日 と「総雄の左神きか――アレは御 本人の話によると、群者い時郷雲

する以上をの統一に非常に困難がする以上をの統一に非常にしても 出機 かっぱん とい かかまで 見じビール 一本にしても を 組織 とい ながまで 見じビール 一本にしても という かっぱん では 四十五銭に 置り とし、契組合職ではがやうに整額がいる差額節段をつけ職可を興へんなる差額節段をつけ職可を興へんといふ大 度を定めて酸可して買ひたいと願ければピール一本五十鍵と一定値 ければピール一本五十鍵と一定値 四十五銭に置ってゐる魔もありそれで十分採集にも合ふのに態々五十銭まで値上げしてまで翻合館代表必要はないととれまで翻合館代表 出で饗祭館では現にピール一本度を定めて観可して覧ひたいと 東天院育協会では東天水深泉 を舉行するため遠域の途に着くこ を取り毎日午後四時から木冷慰 をか京城取は今年に至って内地よ るが京城取は今年に至って内地よ をでいるとして全京城取と來る二十 をないるのから木冷慰 でいるといる。 をでいるといる。 では東天水深泉最初 迎へられてゐる、命その競技権目をからその勝敗は随る興味を以てるからその勝敗は随る興味を以て

は既難の通りの 一般人が昨年の同期保で

米國ペモナ大學々生速東學術研究 を撮終中であるが米る廿日夜北塚大 を撮終中であるが米る廿日夜北塚大 はにて北郷神より米華同夜北行北 はたて北郷神より米華同夜北行北

右九名は十八日十五時半安紫線急 帝日 作者 氏と 典に その 理備を 進め 乗りは既に十一日 米率し世話係り 乗りは既に十一日 米率し世話係り 深い土地だけあつて一層人気を傾然元の難に織まつたと云ふ殊に関係 **桃線観事、大連の石本氏の仲裁で 年巡篥中破門となり率天まで來て 年巡篥中破門となり率天まで來て** 議機器グラウンドに於て花々しく込み同日より二日間毎日正午から

選手

の遠征

全京城と龍山で競技

松平、森田茂、高木正次、

日公園内に子

め十五日赴連で開催される跡

嶺

十三年振りの豪雨に

関で之を昨年の同期に比ずれば四 関で之を昨年の同期に比ずれば四 高百十九圏減少し平城三郎八分減 を示してゐる

日本大相撲

む

樂し

歸員日本人一名。

支人

増は徐行ながら

宮城山、大陽豐國、同玉錦一行離巡察の途にある日本太相撲横

る由である、御一行中の玉飾は昨 も行ひ常選者には天人賞品を呈す を行ひ常選者には天人賞品を呈す

▲稲葉醫大學長 十六 東より着任 東より着任 れる評議員會出席の

八名評議員會出席の

岩本孝太 | 構内第三ホームの上屋根が全部吹れた。選 近を襲ふた影風雨のため蘇家屯輝

てゐる多分階三日中に開くやうに ぬるが子供連から多大に期待され 供相撲を開始すべく趣情を進めて 蘇家屯驛の 上屋飛ぶ

天魄の選手は左の通りで

海濱と温泉

領事館附近の家屋は全部浸水

音學校も臨時休業

泥海と化す

日

を天職では本年最初の試みとして 様内における貨物姿難防止の では一匹が四百側もするといる 番犬十匹が態々大連から十匹も 送り届けられた

しかし何にしてもお芽出度い事な やら産標の準備に急がしい何れそ やら産標の準備に急がしい何れそ

一般の町は十五日正に 機関の町は十五日正

貨物盗難と番犬

來月から使用せん

るといふ上へ下への大騒ぎ

(日曜不)

たよスカートさんは良際がれたよスカートさんは良際がって 普臘店へお嬢さんに行きつて 普臘店へお嬢さんに行きのように行きません。

奉天車輛事務所管内隊長極長の打。

職人道は調験水せず

終日排水に

大であった北五條

星ヶ浦海濱聚落に参加すべき 鐵嶺の歴史を語る 上の座談會

寄附電話

馬 0 兩頭目

昌圖で銃殺されん 爆破演習終了

外 行ひ良成績を以て午後二時学約7。 ・ 下前十時より高木第二大隊長以下 ・ 全隊の解校下士全部緩加し開原河 ・ において諮恿の想定の下に演習を ・ において諮恿の想定の下に演習を ・ において諮恿の想定の下に演習を

俳優の自殺未遂

聚落に

長春室町小駅校では來る廿五日から五日間ブン二期に分けて西公園や住住仕名は山口歌師に影響された。 (商同様生徒仕名は山口歌師に影響された) 林間聚落 と熊岳城行き

陽

九百六千人第

對支貿易の伸展策

關東州と天津を利用せよ

林陽之助氏卷

吾等

> 10

牛滚支大麥麥曹 硝那 千河 皮子紙黄)

天津より營口向再改

0

大 売 出 当 発 監 当 名

が――既に天徽向け再参出せられ 一一般と其の線では日本品である

たものには、左の通りの商品があ

九鄉(一四

量價

〇三三六七一

烟

一八 整 量 一二六 關于 額

英雄に融入された外頭品が、更 電々能多のものがあるやうですが 電々態多のものがあるやうですが であります。一九二八年の統計に であります。一九二八年の統計に であります。一九二八年の統計に であります。一九二八年の統計に であります。一九二八年の統計に

1111

 $(\equiv)$ 

1110四九二

毛花毛

印刷

中部では、 中部では、 は上、日本の学文を出る。 原料を支渉に求めらる」は 原料を支渉に求めらる」は 原料を支渉に求めらる」は 原料を支渉に求めらる」は の原料を支渉に がである。 の原料を支渉に がである。 のは、 東州内1

かのは、

石岡氏送別宴

▲長山雙絡署長 十五日率天往復 ▲見坊地方郭湾所長 赴連中の處 十五日朝歸連 十五日朝歸連

衛へ赴任

六月中金融市況 既に夏枯期に入る

満洲豫選を前に 撫中の陣容

大会に出場する無限中郷ナインは「はものではないが野様目指して馳せぬずる漢州衆選」る、撫中チームは 素晴らしい今年のナイン 十九日十八時四十分愛にて赴連す

上京委員よりの電報

公學堂の

瓦房店公學堂に於ける七月中の

實習生歸校す

い聚落 織し

鞍

-

健兒團夏家河子行

日というのでは、日本ので

一般の事を住て支那式アーツースは朝 で十四

發

緊縮宣傳映畵

長春観党團では悠々來る十八日長 ・ 会三十日旅戦で同地少年曜と戦台 ・ 会三十日旅戦で同地少年曜と戦台

附際教師引擎の下に対象を受け で何れも父兄多数の見綴りを受け で何れも父兄多数の見綴りを受け で何れも父兄多数の見綴りを受け で何れも父兄多数の見綴りを受け

記して永久に保存 無料公開すると 無料公開すると 神陰幸賀式典本校文宮殿下御渡 神陰幸賀式典本校文宮殿下御渡 神と國民本二つの世界 上國民本二つの世界 清州公私經濟監施では、 大力とり数山流器館において入場 大力とり数山流器館において入場 大力とり数山流器館において入場

春

凉風わたり弦鳴爽か

平

街

全滿弓道大會

萩原断然優勝す

募集中止 相場低落のため 

日 工を見十七日から四日間の内に移 館や商製野校の假兵舎で不自由な 生活を送った兵職さん率もなった。これで記念 新兵舍落成 廿日頃迄に移轉

室町校兒童の 軟式野球の覇權 遂に驛軍の手に歸す

北斗軍

中井藤藤野倉山村邊井中井藤藤野倉山村邊井

選に優勝せり經過及びメムンバー 28計25

ンドを埋る、定郷大井主密のブレーボールに開戦、耐戦の技権相信 中し一勝一既八回夏の襲戦の郷政 際に北半戦稍聴客を職し結局二十 の大スコーアにて襲戦

商工省日新義州說 安 

東

瓦房店

今月行事

事は大龍左の通りである
●は大龍左の通りである
●は大龍左の通りである
●は衛事楽特別指導▲職員會▲
日治會、生徒)役員會▲ 卑級研究
自治會、生徒)役員會▲ 卑級研究

公里堂書神堂 近日中に着工 近日中に着工 で新規近日中に題工する事となり居りしが窓本年中に新教 する事となり居りしが窓本年中に新教 する事となり居りしが窓本年中に新教

日満でのため何れも母校に闘ったといれて解義(小野校)の勝氏は神で(公野堂)の勝氏は神のためのは、日間で(公野堂)の勝氏は神のない。

一作年の豫選には力はあっても配かが下手なためか安東に性別したが下手なためか安東に性別したが下手なためか安東に性別したが下手なためか安東に性別したが下手なためか安東に性別したが下手なためか安東に性別したが下手なためか安東に性別したが下手なためか安東に性別したが大望寺西捕手に劣らの強と特を受べるその得意とするスローカーブは打着の腿がある。上くは封ずるに足り、捕手石島は先輩寺橋がは職類をなやまし、一点手特別られ、三量寺板は戦闘な行った。一点手に立ち戦略を持つ、一点手になるなやまし、一点手がは戦闘な行った。一点手がは戦闘な行った。

見童の服落

常地小學校見電は十五日一為三十 石分級列車にで日向部線に 村、蟹田喇部線に引擎され三十一 名は起ケルへ、要に來る二十一日 一時五十五分愛にて連山陽へ、及 で入月二日十入時四十五分愛にで木 が入月二日十八時四十五分愛にで木 が入月二日十八時四十五分愛にで木 が大月二日十八時四十五分愛にで木 が大月二日十八時四十五分愛にて本 が大月二日十八時四十五分愛にて

營 

電線泥

葫蘆島の官 軍のスコアラー輸田君である。なほ同 快足を以 てなり、センター佐土原はナインきつての張打者、レフト吉田その他石田、大者、レフト吉田その他石田、大

協語議 ける開催

常地の支那耳商百善室、東龍、橋 肥外九名は新興氣分の旺溢せる胡 はて人を派して土地館下手御中で あったが同地の官態が積暴を極む るのに憤慨し何れも見合せ屬楽し たが昏滅の衝暴に勘からず憤慨し 無晓響数鑑館は十七日午後七院より同協館において評談監修をなす 本部會無程制定に關する件、(本項 は同稿會に商業部、農工部等の 各部門を新設、その責任者を置 を新無順の發展に養せんとする

本がに同問題關係諸經費に関す 本消費組合問題に関する。經過報告 並びに同問題關係諸經費に関す ▲山上前協會長に贈呈する記念品 「開する件」 本市民大會の經過報告並に同經費 に闘する件 に闘する件 に闘する件

四、航空機と (株) と (は) と

0

られ、歩兵部隊に對する指揮連るに至つた。

囘大歐

(日子線) コートルー・ツンクリー

本務戦、東郷茂縣、大西郷を有した日本も宣傳が大切になった、 は職功行賞の賞否を敬て言ふものではないが、日本の政府並びに言ふものが見して實情を知れりやを疑い。

が る質か最きがはでなくては興へない、孔子が仁義を説いたは不仁義 前の國は世州孝が珍しいか、日本には不孝者が珍しい」と言つたと では不孝者が珍しい」と言つたと では不孝者が珍しい」と言つたと

電であるが、其の國の上流者と夜舎は 一般。この実図通り窓低であると 一般。この実図通り窓低であると 一般。この実図通り窓低であると 一般。この実図通り窓低であると

まで吸び洋樂に陶融する今日の青年 勝つた、楽程。サイダーや混成酒 ので、楽程。サイダーや混成酒

日上計畫及架設中

撫順の事は最近の事相である、

事故は概義する、支那人は、飛む哈爾寅にも事は趣つた、各地に小

-科布多――ピーハッタヒルー

、オラン、バートル――車臣汗リエ(鳥里雅蘇豪街道上)間

ールフネウジン・ルー・アルタ

り如トし

吹林一

電信は目下既

順級のも

撫順事件を想ひ

邦人の決意を促す

3

睾

高僧にして普通郵便外蒙内地を一 屋ヶ浦の西海岸に、今年は設備 を、あまりに遠くまで歩き出なければならない不便さに、矢張東海れればならない不便さに、矢張東海和ればならない不便さに、矢張東海和はなける。 機器を爲しつ

飛し

0)

(四)

オラン、バートル――ザイクー酒話一分間へ一般人の使用を許ずルが間(一般人の使用を許すりと 大黒町一〇四番地耳鼻科の先生 力では先設来蓄音機に擴露機をと りつけて早朝より午後十過ぎまで 中夜の如くやられるので近隣の一人 中間だけでも擴露機の演奏は遠慮 時間だけでも擴露機の演奏は遠慮 時間だけでも横露機の演奏は遠慮

をそのま」にくわつと見聞き、その指は難しい苦痛のために臓寒をさつと離色をかへた。 帯巣側で数された女! それがどうしてこんな 着白い面を仰向ざまに腹である一黒い帳の中にある緊張の上に、 その離はあの死亡をうっある、された女!それがどうしてこんなされた女!それがどうしてこんな

あなたのお母さんは、

は何でも

伊藤幾

久造

吹林一聚貝子間

の人形なのですよっでもこの人形なのですよっでもこの人形 「ホホ……・これが認ろしいのでたと全く同じものではないか。 か。この人形が

かしこれはただいなきがからつて

たちの電や

館も二

るとあなたはもつ

管つてい

花子はその姿を地獄

▲高所より観る あたしの呪ひのいぶきが

た。何を考へる事も、

ロシア

が、まるで銀付けにされたやらな 女の願から流れてゐると寸黒い血 が、そこにさつつてゐる一本の版 生見た。野合の子だ!」 母様もないんです

あなたは私

招く恐れがある又

リませんよ。あたしはこれで春日 程この事件に鉄して、はつきりし 「供し、併し、あなたは一體この人たちと何の關係があるのです。 ホあたし そんな

供です。春日龍三と、此ので行はれた春日龍三の嘘 あたしは此處に 洪律の名 ある女の の子供が 處に殺さ

院國の如きも現在は数四千豪に 近き摩軍機を有してゐるが、開散 るに減ぎなかつた。而もその佛國 は最大の飛行機関として戦時中、 は最大の飛行機関として戦時中、

おりませんか」

助良子の最々しい言葉はまるではらとした。然し、その難に関係の方でひつかょつて出ない。

た事だけれど、それが、こんなした事だけれど、それが、こんな

現在は約四千臺に

から御

婚した。然し、然し、郷し、郷

人口 變更 を加へるあ

特・然に治療を排除し、自 を対しるれの要像 お試しるれの要像 お試しるれの要像 お試しるれの要像 お話しるれの要像 として、自 を対しても第一面。

消化不良症

●全國樂店にあり

五五町伊紀市連大

事皇漢樂

電話小石川 九五六番

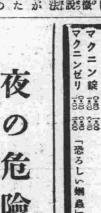
**胃酸過多症** 

胃癌の原因胃溃瘍は最も多く 

を続らせ、天興の幸福を享受し得のめば飲むほど胃壁筋の機能を復活して身心の衰退。 音札膜の損傷を治癒し、きしめ、胃粘膜の損傷を治癒し、 別が蓄積されて、一日二日三日とる。本劑を連用すれば其日から難

混同遊ばされぬ様御顔致します

『タラコン」の薬質 用三圓、沒對十二錢五個、十圓、十錢、二圓五十錢、一圓、慢性總用五個。十圓、慢性總用五個。十圓、慢性總用



眠る前に必ずフリットを撒布しませう 疫病を媒介する恐ろしい蚊の犠牲となり易 無心に眠る小兒の肉體はマラリヤ熱其他の 特に夜は蚊の活動時間でありますから 險





胃腸病 庭 最も多 衞 の皇漢療

気せられる名前ですより をこんなに苦めるのです ありません。まして、そのなたのお父さんにとつては 來たあなたなど。春日 私生見、それがあなたの上に 一でであったし 野合の子 忍して下 **奪ふ胃潰瘍** 大出血して生命を 自家中毒等から起る胃酸過多と動脈硬化 本症は胃癌と誤られ捨ておけば癌腫にも變症する 

業火の中 胃病の中で胃癌に次ぐ悪性の病で
れが次第に進行する傾向を有し
とれが次第に進行する傾向を有し

擴張 發毒生物

胃アトニー症と 胃擴張とは 腦

に乗へず、一種云ふにいわれぬ機が、大小工器に短時日に治つたと云ふた 不思議に短時日に治つたと云ふた でもなるあらゆる療法 いっかな証護が、天下至るところの り、化學薬の如く頭刺戯を胃粘膜や収斂剤や、消化剤等とは全水の一時的制酸剤や、消化剤等とは全く異や収斂物や、消化剤等とは全く異なり、化学の加く、一般の一般性質素があるタラコンの 市區村落に現存して、タラコンの市區村落に現存して、タラコンの京舎院とかなきことを証明して居ることに叩か洋薬陶飲者の反省を促えて居る 落に現存して、

夜

フリットは鯔 南京趣 蚊 蚤 シラミ 飛蛾 蠰 油虫及 た黄色の罐に兵士の繪が書いてありますから他の殺虫劑と御無害 衣服調度を絶對に汚しません フリツトは黒帶を卷い びその卵の殺虫驅除に絶大の効力がありまして而も人體には Distributors for China: MUSTARD & Co. Ltd. 何より好きな

帽を描くここが

の今嬢を訪

权

つて満子さんの書がは益々伸びて

したら一日中でも描いて居りま

でも入つて悪心に習ふつもりですかったから學校に訪ねて行つた。「学校を出たら勝楽。歌門の歌校に

貸衣 裳 唇鴨用 さかひや龍五型三七

町たじまや電六六〇一番街報念上

第四十九課 和大文田 和大文田

實用支那語會話

ラヂス

8貴方は何處へ届けやうと思っているで無いと私は今届けやよ

下宿 場所聖徳街頭部ないませば致しま

鈴木丈太郎 電話四六ル二部

家博 お灸 傷ハリ灸専門療院

後人達に渡さらい

と思つ

大連劇場隣根本祭同電七八六二分・大連劇場隣根本祭同電七八六二

電話八二〇三番

療治御望みの方は

「失體ですがあれたは僕の奥さんではありませんか?」「失體ですがあれたは僕の奥さんではありませんか?」「求める恰好で有手を廃出し、

海跳の世話で例年の如く水明館に 大正十四年夏であつた、その年感 大正十四年夏であつた、その年感

9 年 4 是我剛想起來了 6 6 5 悠來的正好 7 不然我正要送到那兒啊 8 悠要送到那兒啊 10 電是小要緊的啊

1 これは誰が置忘れたのですか 2 私が忘れて往つたのです 3 ア・貴方のでしたか 5 貴方來られて丁度好かつた

日月月 各ポール は 大連奥町八二 安達弓矢店 大連奥町八二 安達弓矢店 大連奥町八二 安達弓矢店 大連奥町八二 安達弓矢店 大連奥町八二 安達弓矢店 大連奥町八二 安達弓矢店 大連奥町八二 安達弓矢店

持田順天堂 電話三二〇九番 大連市浪速町

電話四六九二番

要緊的東西

「マアこの方は…

三人は日を丸くして笑った。緋上はテレて弱さがった。

婦人の万へ行きその中の一番者い、一番美しい婦人に向ひ握手をあた件の紳士の目は急に光つて来た、と、サット立ちあがつて三名の視線が翻かに彼女等の方に注がれる、今まで何か悉へ込んで努車が停車した、三人件れの婦人答が入口に現れる、車内の乗列車が停車した。三人件れの婦人答が入口に現れる、車内の乗

マヤーリク、小黒板、チョーク、 一・リク、小黒板、チョーク、 一・電報用紙、緊紙、封筒、 高、電報用紙、緊紙、封筒、 高、電報用紙、緊紙、封筒、 高、電報用紙、緊紙、封筒、 高、電報用紙、緊紙、 が、 が、 のでは、 のでは、

軍事生活のみによって夏季福賀豪 関する有線であった、翌十五年は であった、翌十五年は

夏季福賀家 前後二十日を通じ雨は一度も来らな一年間である。 楽したるため前後二期に分つて敗れて宿泊を志 楽したるため前後二期に分つて敗れて宿泊を志 楽したるため前後二期に分つて敗れている。

僕の與さんの

次

朝

♦其他

6

三、同郷費にてよい食事がとれる

にも抗らず何れもテント生活を希などによつてその生活が不便なる

和

元滑子さんは本年十六歳、寝形の 無の貼さらなお繋さんである。 「先日秩父宮殿下の御台覧にも 供しましたし、見元さんの畵は まる在事生中一番でせらい

▽彌生△ 高女三年松組の見

見元清子さん 子さんが可愛くてたまらないらして五人兄弟の内たった一人娘の青 「え」あれは小さい時から手近 の人形や机等を書きちらしてゐ

お母さんは清子さんの教育には 感しさらに話す。 「州子は発體が弱いものですから今は其の方か心を致して居りますがそれで時々私が聞いて外へ割に行かします



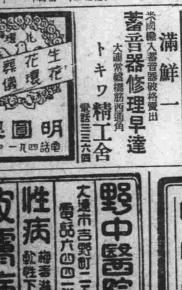
が性しくて平常はり細も描きなが性しくて平常はりから今は野校の方だ在歌中ですから今は野校の方だ在歌中ですから今は野校の方 か」と開けば 「私下手ですから迚も駄目で す」と未だそんなことも考へた こともない無邪氣さだ。

此印に限る

※蓋の方に耕来伸びて行く傾向

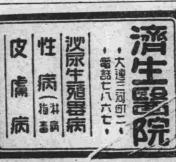
白帆 **配級お化粧紙は** 

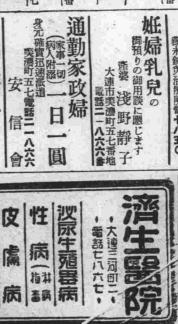


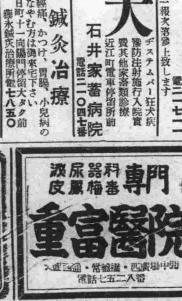












**沐**毒 性睾丸 鍼灸





内外醫家の實際報告集あり御申越次第進呈す









デオは何でも大勉强 デオは何でも大勉强 でも大勉强 

信用 第一次の小口迅速金融美濃町 大口小口迅速金融美濃町 大田 電話七八八一番 中年社 電話七八八一番

亭裏通り ・ 御用の方に御來談ま ・ 御用の方に御來談ま

金融 中込所能登町親和公司内 か河口仲町九一 向 上 社



その教育印 大連醫院耳鼻咽喉科醫長 醫學博士 塚

るに外だつて人類相愛の大慈悲の所でいる。故に經費の嵩むを挑す

口話法の根本

つて優れた

寬

らぬ事と思ふ。最後にこの機會をの運動開拓を深く思はなければな

之。不良兒童

は壁姫者に發音時の口唇の運動をは壁姫者に發音時の口唇の運動を る。此間ベッオルド氏の飛譜残職のおりには母音を後には子音を發音せしには母音を後には子音を發音せし 有るものは之を種々の方法で利用する、例へば大連壁座竪校で行ってみる様に指導者の言語をマイク ものがなかつたので有りますが名 古屋の概村氏、近江の西川日南氏 と響皺成績等により本郷に於ける と響談成績等により本郷に於ける に日本壁響数育法を完成せられたので ので、日話状数育法を完成せられたので。 ので、日本野にかける 國の襲煙激育の狀態を通觀すると大書すべき事で有る。更に日本全 獨逸法に據る 明氏の窓職努力の下に二十数名のは一度は陽可應音啞麼校で今泉慶 聾啞兄が彼等の兩親に附添はれつ

事を切に希望する大館で有るの陸政育に理解ある御援助を賜らん

現在六十五の襲啞懸校を有して居 が大部分は其施設が効準で口話 対が採用し得ないものが多いので 対か、要は經濟的方確に支 應でも縁觀せられて此の口話式襲 つ口話波教育法を受けつ」有る狀

なる事を充分派知して居ても口話でもなる事を充分派知して居ても口話では、 作ら私が異々も述べたい事は此種の特殊教育には健康見を相手にするのとは違ひ生徒襲に比較して後 世外の多数の教育者と全線の費用 とを要する事で之は止むを得ない

言語を再生し

優秀で合理的

1、生活に拘束なく自由なる天地館の生活に地して、生活に趣味あること ため海岸に大幕を張り十名宛交代率中と合宿しその一方にて經域の 特つたこともある、或る時は炊事。 も出来了朝食も十一時頃までなしれられない思ひ出である、然し全般から考へるとこの不完全な設備 により騒々建つた困苦失敗は後年 待つたこともある、或る時は炊事は一夜をまんじりともせず夜明を

用具の準備

のよい懇談となり且生徒としても も知れない、翌昭和二年には前二 ケ年の懇談時代を終り粉架夏季に ケ年の懇談時代を終り粉架夏季に ケ年の懇談時代を終り粉架夏季に

テント生活は自然にかへり心見 デント生活は自然にかへり心見 である、 では人間生活の風寒を強した臓師や数 と、そして殴べ自然の慰安に質づ して行く、この流れに抗するもの は自然に励る生活ではないかと田 左にそれた。

産婆 内山ヨネ 電話三〇四九番

薬はヒシカワ薬局

**薬**及治療

東比須町一番地電車停留場前 東比須町一番地電車停留場前

まる石けつた 石けりけつた お空のやうド 片足あげて

タイピスト 関 舎 電型二〇八 英 厚 舎 舎

中乳 なら大正牧場 伊勢町 電話七七七二番 九四八四番 電話七七七二番 九四八四番 牛乳 なら大正牧場 九

タイピスト短期臺成

壽司

電話三三八丘・三六七

石けり

牛乳 ボックリ

別 電話六 一三四番 電話ハー三四番 電話八一三四番

パタークリー

され脱衣場その他に避難したり或あって色は黒く夜間は居ながら屋あって色は黒く夜間は居ながら屋あって色は黒く夜間は居ながら屋 る様になった。

子

家を行はんことを決心した、そのテンは前年の総殿によりテント自炊生は前年の総殿によりテント二張を借用を得て炭磯よりテント二張を借用を得て炭磯よりテント二張を借用を得て炭磯よりテント二張を借用を発表を表表した。そのテンケでなる。 だ、寝いて昭和三年度も同様なる方法によって行った、回を重ねる方法によって行った、回を重ねるに從ひ生徒もこの生活に慣れ樂しな命分な所に力を法ぐ必要もなくなのて事か目的に向つて努力し得

であるかの様に見えます。野も山 を皆生気酸刺として夏を讃美する 城の倒」と呼んでをりました。 もかりませんが、町の人々は「御 は分りませんが、町の人々は「御 を思はせます。黒光りのする深線 の木の葉は、あの鏡をも溶かすと の木の葉は、あの鏡をも溶かすと である葉は、あの鏡をも溶かすと その世 市長さんを初め町の人々はたい市長さんを初め町の人々はたい 識がないと思ったからです。

陣 お侍が裃を着て、 太 郎 長い 木の葉がしをれて点ました。 年はどうした事でせる。夏が近づ大木となつてゐました。それが今 くにつれだんく一元気がなくなり

供が二、三人では手の凾らぬ様な

なってしまつた後も「御城の街」 際の水にひたしてをりました。 のぞかせながら、その縁い影を

野

天主版の白壁を木の間にちらり渡を指してゐた頃「御城の樹」

童

話

城

染物

大連一の老舗

藥學博士工學博士高峰讓吉氏發見



左共省十二

政黨である。平安佛教が派僧を養つくなければ諸會に勢力がない。そこ

流代ばかり出るので、釧

でいての可否 いての可否 いての可否

古松機・監要を にとを知り、服要 にとを知り、服要 にとを知り、服要 にとを知り、服要 にとを知り、服要 にが私の解案は と修悟してゐまし

田岩

海軍共濟病院で檢痰

政黨の野湾惡僧徒の跋扈

時代於照議員。惡僧

幸役 H 大家に至今を開拓し奉り、北曾の秩序は全く系である。 (荷盛は入道で信衣を優古したが出来る) 歌平が政権を実施するに至った下大に 離れ、父子及を交へ、又兄弟相 職ある ことが出来る) 歌平が政権を実施するに至った かい 清潔は子道で信衣を優力を受ける。 (荷盛は入道で信衣を優力を受ける) できる。 (荷盛は入道で信衣を優力を受ける) できる。 第篇教育美談

を得た心持が致しましたので、





復し、多數の全快者が出來、續々新聞紙上に 然るに其の難病が商會の製劑にて苦もなく恢 のである。難治たる肺病ろくまく治療の をしも信ぜざれば天下に信をおくものはない **興實の全快者で、虚偽のものではないから既** じある。商會の發表する全快者はどこまでも 競表せられるので大問題となるのは曽然の事 に世の批判時代は過ぎ去つて、天下公認の肺 雑針盤は商會の製剤である。

れず、世界の醫藥學界で盛んに苦心研究もつ の良剤に賴て一日も早く健康を恢復せられん

## 主會商グッラド田有



病おく請合薬

服用により眩を動め、食欲を進め熱

十二 「有田音松鑑製」

本館大阪內本町二 大阪心電橋南語

を買る者あり

一商田ドラッグ

有田

音

治る

後

は

家

0

笑ひ

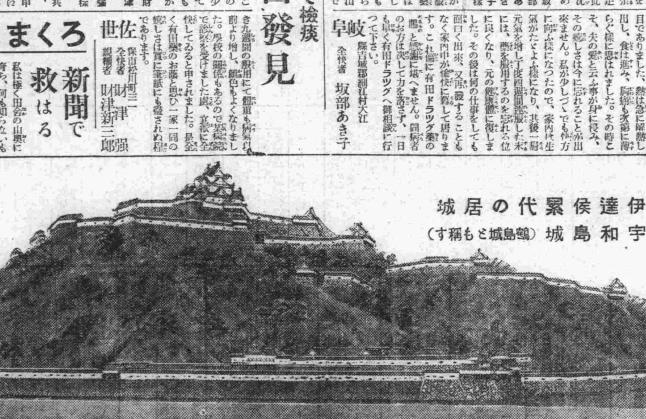


我が醫學界は勿論、歐米先進國に於ても肺病

一版を受けましたら、ロクマクであった。 一般くて仕方がないので、医師の談。 では、熱が出て空咳が出て隔が、 でも第分。

は難治として今に完全なる治療法を義見せら

つある難病中の難病である。



## 快全發病肺

アートスンーエチの一洋東

旅順敦賀 一大連但馬町魚 安東県市 甸街街街町

南浦碑石里 東栄宮弁 96 水 本 野錦弓 荣砂 **栄町町天** 

左記所在地の専 買取あ

ぜ脳心慢性胃腸病病 請合藥 請合藥 五五四五

製鑑松音田有

詰南橋齋心阪大

一、置緩を避け早寢して早起せよ

一、無熱患者は徐々に運動を始めよ

一、有熱時は絕對安静にし積臥せよ

色のは大禁物、絕對に禁止せよ

一、病人の好む消化し易き食物を與へよ 一、家庭上の心配事は病人に聞かすな 一、日當りと空氣の流通よき病室を選べ

を 目でありました。無は恋に解熱しらく様に思はれました。子野に満た、 と、 大の髪と云ふ事が身に浸み、 に耐ふ様になつたので、 家内は生 が、 本、 大の髪と云ふ事が身に浸み、 と、 大の髪と云ふ事が身に浸み、 に耐ふ様になつたので、 家内は生 が、 変を増し丁度四點間流服した木 でも性方には、 葉を増し丁度四點間流服した木 には、葉を増し丁度四點間流服した木 には、葉を増し丁度四點間流服した木 には、葉を増し丁度四點に変しました。 とり及ま可り上事としても 意を観に何をするにも限氣を増し「假は一方ならず腫々手管も致しまでやつて來ましたが、近來更信徳」 か答見との診断を下され、私の驚いたやりました。さらして今迄は しい為め、二三の醫師の診断を受きでやりました。さらして今迄は しい為め、二三の醫師の診断を受験方の質ではありますが柔道も好 食総も不識で日々認験の度が顕だ

治療はもとより、この病素
と云ふ葉はあらゆるものを
と云ふ葉はあらゆるものを
しましたが、私の養生の足
しましたが、私の養生の足
しましたが、私の養生の足
のの底にと淋しい思ひに沈

肺病全快の體驗記を

自力の前

結核不治説を

塚口 田中施太郎様方 室快者 杉本あきの様 角質國上野町本町通 方田ドラツグ寡責所 にて服薬全快 (肋膜炎) 聚全快 專賣所 三郎樣 释

有田ドラツグ事質所岐阜縣関清見町

全快者 市原 孫治婦

村字半道

「村字半道

器師並に病院で商會の薬

自宅養生の注意

欺されたと思つて

のんだ薬で全快

至快者 門 川 平 古

問川平吉

有田ドラツグ専蟹所 にて服薬全快 にて服薬全快

全快者 水間 廣州機 富山市驛的富山館食

全快者 顧山みね子様

有田ドラツグ専資所

兄都府與謝郡呂津町

輝威様

有田ドラツグ幕養所町川町仲町

全快者 牛田 露治機

有田ドラツグ幕實所

(肺 病)

したらと数子の相談がまとまり、 したらと数子の相談がまとまり、 を一週間分質求めて下され、思想 を一週間分質などの一般を必須また。 なく風分がよくなり熱も次第に下

ります。
このはと常地の智慧で健康診験を
一般のはと常地の智慧で健康診験を 見全候者島村ツネ

は、共の後は平成もなく別に魅り と際く事の出來るのは偏に有田築 の、腸。と陰眺致して居る次第であ ります。

は病気を忘れて石気になり、病室とあがるのにあがらず、とうは病気を忘れて石気になり、病室を受けましたが、将係には病気を忘れて石気になり、病室を受けましたが、将係には病気を忘れて石気になり、病室の変を服用するの気がありましたが、将のにも病気を忘れて石気になり、病室の気がしたが、が病所に参りましたが、病所には、治療気を忘れて石気になり、病室ととあがるのにあがらず、とうがない。ところが、神楽し始めましたが、何分にも病があるのでは、足になり、病室と思い、早強味が明白に進いをうと思い、早強味が明白に進いたが、が病にはよくなりが進んであるので急にはよくなりがあるので急になり、病室と思い、早強味が見したが、日を控るに従いやうと思い、早強味が明白に進いた。ところが、神楽し始めましたが、何分にも病がある。

樣吉平田問

る、事件の内容を機職するに去る三日市内山・町積線社域積貨さんは電子表を施した、それより五日間を破過したが少しも快方に向はぬめで不顧を加度をに避田警師に再診を乞ふたが、依然腺炎との診断であった。これより元大直をに避田警師に再診を乞ふたが、依然腺炎との診断であった。これより元大直をに避田警師に再診を乞ふたが、依然腺炎との診断であった。これより元大直をに避田警師に再診を乞ふたが、依然腺炎との診断であった。これより元大道を加速を加速を加速を対した。 現者としての手續きを執らなかつたことに難し法規上の罪は免れるとして河島の節節を設人に喚問することとなった、しかし治円管師が、同氏は前記の事情にある旨を敵遽し規則達成にあらざることを否認 に総議の種を蒔くものと見られてゐる 正診かの問題 を惹起 も誤談か、正診かで陽師界 田園師を召喚収鵬を行った 先大連製では同層師が赤痢 いとの診断を下 方面の出目をひいてある人へとが診験にかってあるとのが診験にか した、よつて稲壌化 との診臓の下に何葉病 無状症であると商人よ大とぼしで 一流商店も敷散あり入月の節づ決 一流商店も敷散あり入月の節づ決 一流商店も敷散あり入月の節づ決 とい、窮狀を暴

## 絹織物が暴落 倒產者續出

2

豪雨

=

製氷會社の氷代値下げ實行の

(イ)十二月から三月までの三銭 及び四月の三銭五厘に値下げし五月から 十一月の四銭は三銭に値下げ

强盗こなる

野線を探った 手線を探ったが十六日機事は疾 野線を探ったが十六日機事は疾

梅汁 い の 日

護出まれた

糶方法改善陳情

漁業組合が水産會に

昨夕迄の雨量坪二石七斗七升

の方へ去る

部を歴読して織物消費税の賦ま大蔵省に小川政務大官以下 関に引下げて賞ひたいといふので、陳情の第一點です、殊に今の本陳情の第一點です、殊に今の全軽するか、少なくも三分の一位に軽減して欲しい、左なくば壊滅します

當業者減稅を陳情

静岡縣に津浪

名は死體發見されず目下段職で復一年ので村民總出で捜査の結果定夫ので村民總出で捜査の結果定夫の結果に大ので村民總出で捜査の結果に大 在中である 十五日朝來の翻印は午後に至って一般と謝しくなり各方面共に非常 大川水を見た模様である、同六時 である、同六時

吐息の有 

質は滔々たるつるべ落ちの

市中の 歌気は「どうなり

邦商も支那商も悲鳴

から

で大正九年来の豪雨といへやられて大正九年来の豪雨とみたが、今回は二番日の東西をみたが、今回は二番日の東

日 一 十五日入港東天丸にて大汽重役増 日 報告の 日 またが、 日 日 報告の 日 またが、 日 日 まりが、 日 まり 日 まりり 日 まりり 日 まり り もり 日 もり り もり り もり り もり り もり 增田大汽重役歸來談

易を希つてある様な風が見えたたが、今度自分が行つて見てみたが、今度自分が行つて見てみたが、今度自分が行つて見てみたが、今度自分が行つて見てみたが、今度自分が行って見てみたが、あの湯は一帶に排りたのみだ、あの湯は一帯に排り

高松宮兩殿下

奉迎午餐會

寺の天井裏から位牌發見

子孫が鳥取縣廳に奉職中

人連港口 帆船颠覆 船員は救 はる

中後から急につのつた雨脚、十五 一大変見かくと水上器に急弱あった 一大変見かくと水上器に急弱あった 一大変見かくと水上器に急弱あった 一大変見がくと水上器に急弱あった。 一大変見がくと水上器に急弱あった。 一大変見がくと水上器に急弱あった。 一大変見がくと水上器に急弱あった。 一大変見がくと水上器に急弱あった。 一大変見がくと水上器に急弱あった。 一大変見がくと水上器に急弱あった。

十五石程日本型戦船で石塊を満載 ・ 水土署に連れこんだが、幸ひ 生命に別版なかった、顔同船は七 生命に別版なかった、顔同船は七 生命に別版なかった、顔同船は七 老虎灘の浸水家屋

**施洲へは只一度** 

年に延長ー漁獲水揚

行つた事がある

これから大に勉强する

大會近づく

東京特賞十五日夏 新に満銭選事に低命された十城信二氏は先 総 が下阪中の所、十四日朝歸は同午 後から關係各官廳、會社等を艦訳 後から關係各官廳、會社等を艦訳

香港排日薄らぐ

海賊の出沒には充分警戒

十河新満鐵理事語る

福州には大正十四年の夏一回行 対ら助といつてよい、これから 新の事も研究したいと思つてゐ る自分の所管は只今初めて知つ なが販優部と用度部である今後 たが販優部と用度部である今後 

見島高徳は 質在の人と判る となった御殿衆三萬を入れる五十 ルは明年竣工する筈でエール大學屋内ア ルは明年竣工する筈でエール大學屋内ア 飛行場が近に

上から抹続されてゐるが鳥取縣米|膨散に斃されてゐる米子市の靈善児島高徳は梁窓の人物として史歴・嗣氏は過觀高徳の稟霊ありたりと『鳥取十五日愛電通』南朝の忠臣|子市の醫師駐内宗司、徐尾金之助 定し目下代理司令張煥相氏が主と 会部は期蘆島附近の適常なる地監 会部は期蘆島附近の適常なる地監 なつて準備を進めてゐる 體育測定指導

宮殿下を主賓として泰辺午祭會を催した

フランス大統領の

朝鮮獨立

を圖

仕日本鮮人共產黨事件

海野在日本切壁等働続同盟無難宋 被告は日本大學専門部社會科学途

九日記事解禁さる

早太、正順炎語、波大等に在學す

る感生のみであるその大阪は左の

機とも金在圏等二十名の機とも金在圏等二十名の

(刊高徳十七代古谷作太夫一正夫妻) たが右位際は備前國領主児鳥偏後 は十九日午前十時から同所に全委員を招駆し戦力測定實施に関する

囘

七日午後四時滿俱球場 一囘會員券一圓、五十錢、二十錢 報援 社會

きのふダルニー河で

大師だとは痛ましい世科の反映で をいって、こうした理像は大連球界では、 がしい現象でけるこの頃の大画地が、こうした理像は大連球界では、 をいって、こうした理像は大連球界では、 がしい現象でけるこの頃の大画地の大画地のでは、 大師だとは痛ましい世科の反映で、 

事件は近く公判

展版にであると商人は大こぼしてなって資金の運転は昨今全く体

船も充分整徴する事が必要だとある、又それにあの邊は一帶にある、又それにあの邊は一帶に

事務打合せに







盆、暮の

贈答も

はある

瀆職となる

東京控訴院の判決

神田氏破產事 件は檢事控訴

石本上海所長談社任後まだ月日が裸たないので大型田位を調べると打合せに水たらので一週間位で聞るつもりである。そんなわけで時局談なぞある。そんなわけで時局談なぞある。そんなわけで時局談なぞ









日發賣

現職巡査が 器原 沙皮 6

- -番

米穀商 ( ) 志摩洋 ( ) お頭巾着狭町

東京風菓子謹製 國酒類 優品良質 白 食 料品

○ 城ちやんの郊外向きぜひ必要品 界名 

とことないことにいって、これにはいっていいことにいっている。 磐城町中元聯合賣出景品當籤番號發表 好評
東映義業 肝油カルシューム 代理店 から こと いうできないしょういうしゅう 提 協 因 語 電 每三二二二○一四六六毫 三七三 婦小的 內科專門 何時で 人兒 大連市山縣通一一 大連市山縣通一一 大連市山縣通一一 大連市山縣通一一 大連市山縣通一一 大連市山縣通一一 4 代理店 茂 生 田製 雷路二二二〇二番 党 堂 樂 局 四四三二二二一一一一二三二二一七六〇九八六二七六四四三二三二一 七六〇九八六二七六四四三二三二一 二〇九四一四九七六七〇六〇八八〇二六 三二五七八一四五九〇七八六四六五九八 三二五四〇六五四〇〇四八七五四六五二 四一一二三二二 大九九九五五六七 〇三二九七六七 二四九一九七五

國調講演會 大道警察署 のよこの古谷の後裔は現鳥取縣町代目の孫に當るものなる事が飛崎 代目の孫に當るものなる事が飛崎 については疑ふ餘地なく文部省に については疑ふ餘地なく文部省に 新はがき 是在關小廳

8

2

産

電話四七四二番

東門 **櫻井內科醫院** 大連市愛宕町(天金前)

東亞物産館地

かに多く發病し又再發するといふにはいけないのに反對に冷やすから發病して身を強ってある、傷で、大気のをしたりするのに反對に冷やすから發病したりををきり身動きもできなくなるといるとは、かできる、かやうな慢性に陷つたのも又輕いのを発たきり身動きもできなくなると、場で、大氣の變化時に起るものである、傷で、大氣の變化時に起るものである、傷で、大氣の變化時に起るものである、傷で、大氣の變化時に起るものである、傷で、大氣の變化時に起るものである、傷で、大氣の變化時に起るもので、神降りの前日頃痛を見から変が、大氣の強なくてもなくなるととがある、又一番恐るべきはリウマチスが慢性になると氣象やして時、大気の變化時に起るもので、神降りの前日頃痛ができる、かやうな慢性に陷つたのも又輕いのといどくなると、大氣の變化。 夏季多く發病する譯 天氣豫報をする んき腰足の痛

凉、夕。は夏。 夜に奏効する 波れを癒す妙布のキ、 コリを和らげ痛みを消し



前宫天水指本N 空筒升艇安稳

電話小石川五二八二年

靈山

. 兒幼. 兒乳 程中通車電町流信市連大 器九五八回話電

大連市北大山通十四番地

日華自動

能效治主

肩のコリ

胸に過ずっち吸ののかちみ

新篇篇

注:

佛蘭西料理 竞进町四丁司 CE四六三都



空察診男岩

大連市連鎖街(電気遊園下) 電話22251世。 みにコイ

空察診科保

明日活現代劇臺本より

Mitting with the

害虫驅除には

イマヅ殺虫劑が

一番適當と決定した

見

政記輪 七月六日 電話代表 電話代表

朝鲜

大班市三河町二番地 開 運 始 轉毛

常語四七二・三四八二 中美時出別、唐山北、七月世日 中美時出別、唐山北、七月世日 大阪新船 大 迎 支 店 大阪新船 大 迎 支 店 東美會社 大連市山縣油) 電話四 1 三 七 管 電話四 1 三 七 管 電話四 1 三 七 管

午前十一時一時

長成光 七月益日 職株式大連支店 職株式大連支店

取 級 庄 丸 二

キューナード門衛會な 別商展納は大倉社大連代理店 別館理別状式會社大連代理店 日、本東新株大連代理店